



罪と罰

はなとかすみ

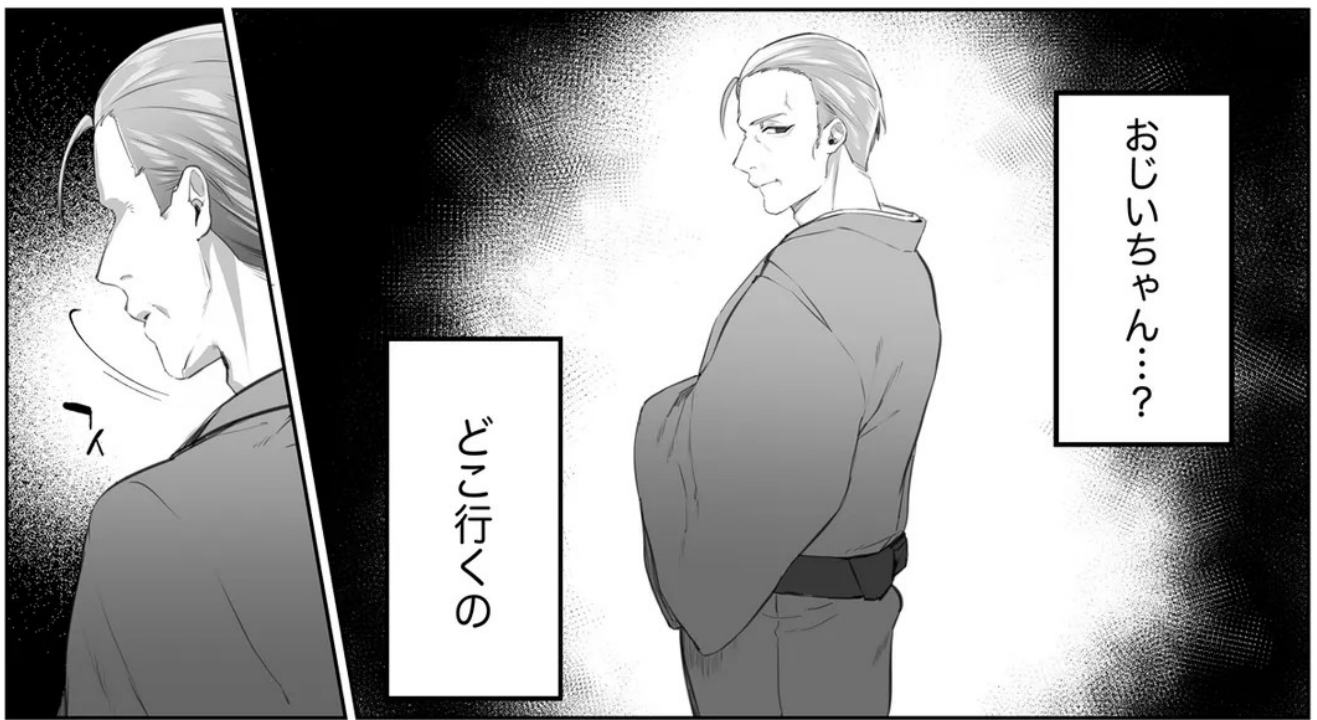
封印されていたのは

鬼畜ドSな俺様系式神でした

まさか今頃
訳ではある

随分と
イイ女に
なったじゃ
ねえか

眞正銘
鬼様だ



おじいちゃん…？

どう行くの



あ…待って
置いていかないで

やだ…行かないで
おじいちゃん…



ひとり
しないで…

たまたまに
3年前に他界した
祖父の夢を見る

まただ…

私は早くに両親を
亡くしたらしく、
祖父とその周りが
育ての親だった

厳しい人だったから
礼儀作法を
叩き込まれたけど

それと同時に
一人娘として
大事にされて
何不自由なく
育てて貰ったと思う

今日は私の
18歳の誕生日



この封筒を
開ける時が来た……！

祖父の遺言通り

志乃



まだ残つてる
遺産の話とか
だつたら
どうしよう……

私そういうの
苦手
なんだよね……



……どういふこと？



これは……！



うん
うん……

手紙には

18歳になると
私の中に眠る
妖力(?)が覚醒
してしまうこと

それを狙う怪物が
私を襲うであろう
こと

私が大人になるまで
守るつもりだったが
叶わず辛い思いを
させてしまうこと



にわかに
信じがたいことが
書かれていたけど

あのおじいちゃんが
ふざけてこんな手紙
残すわけないもの

…?
?

ね…

今 何かに見られてた…?







やばい
なにあれ

ずっと
追いかけてくるっ



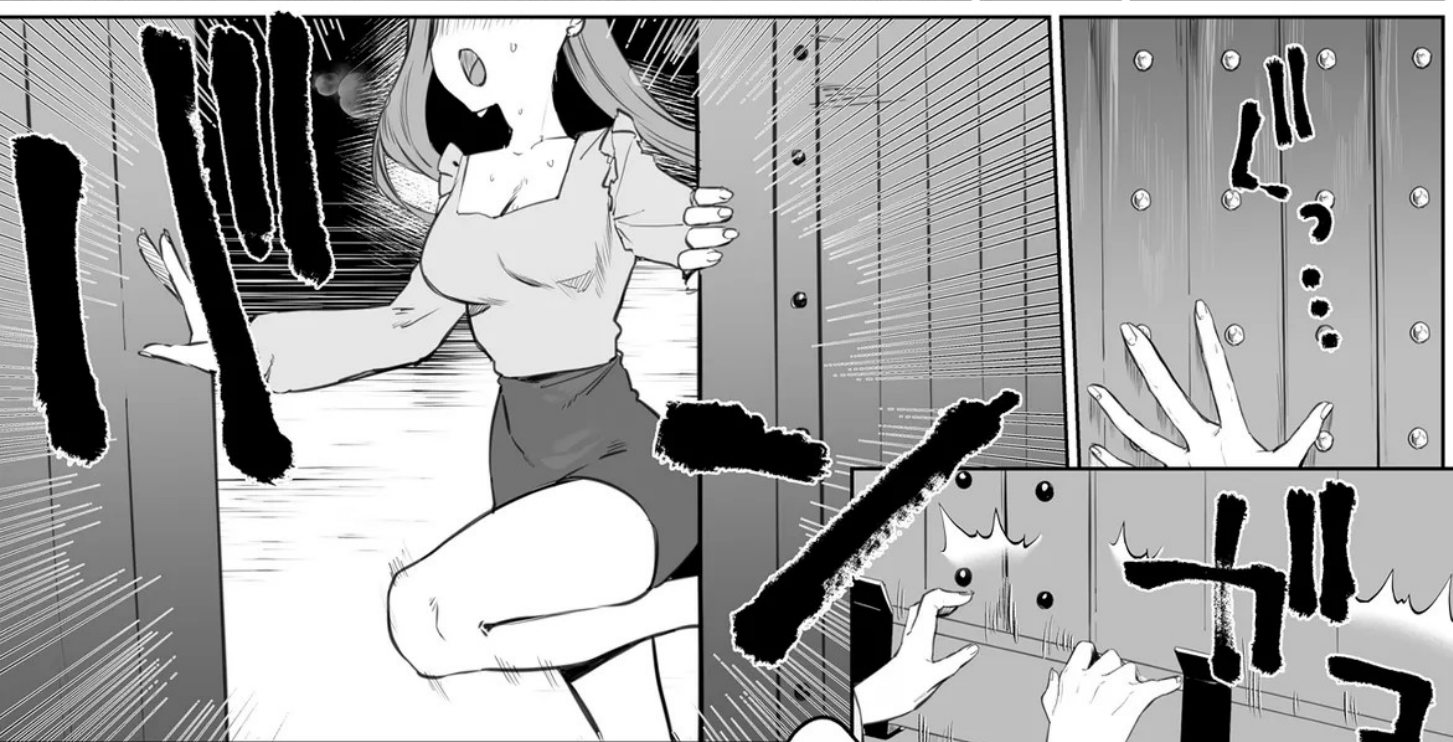
もうっ…
脚も…!!



屋敷の方に走ってる
はずなのに一向に
見つからないし!

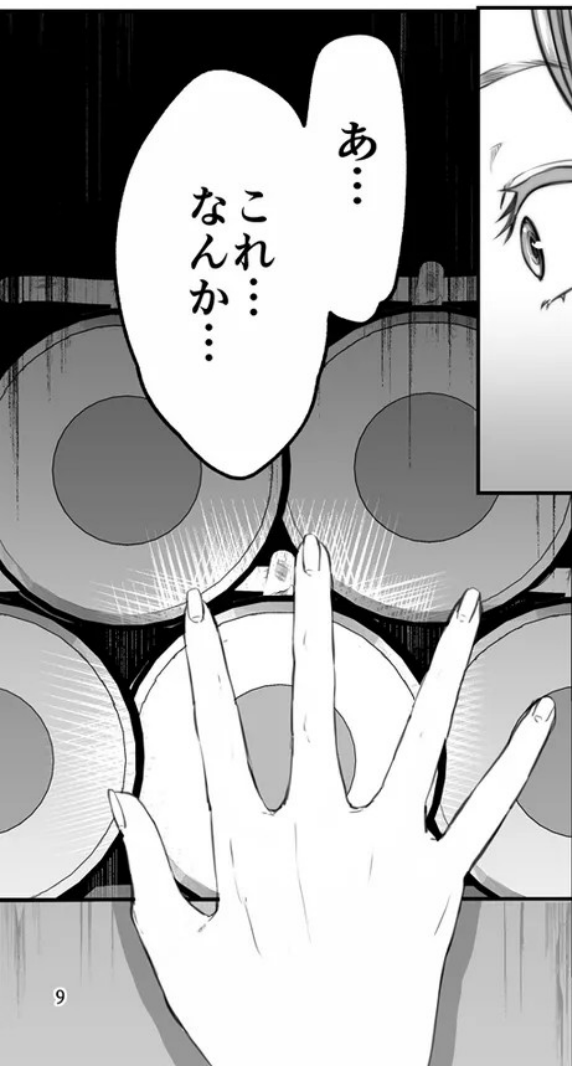
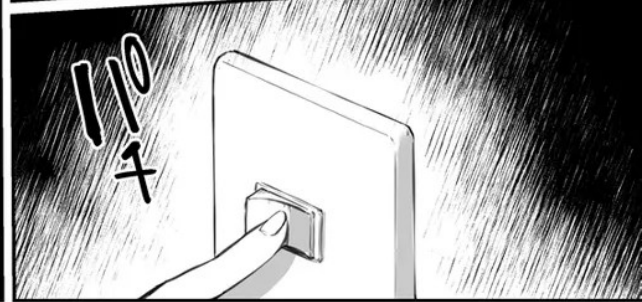
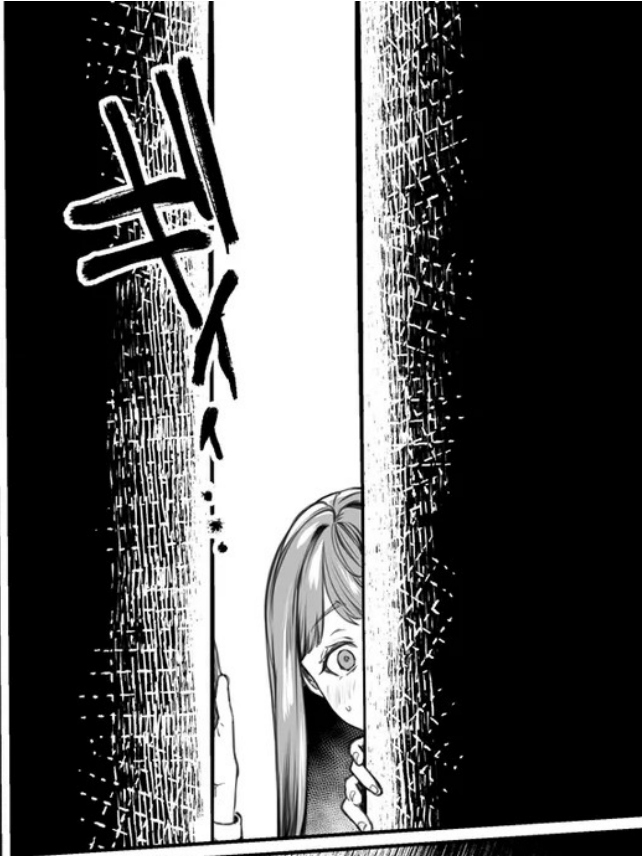


もう息も
体力も
限界…!!

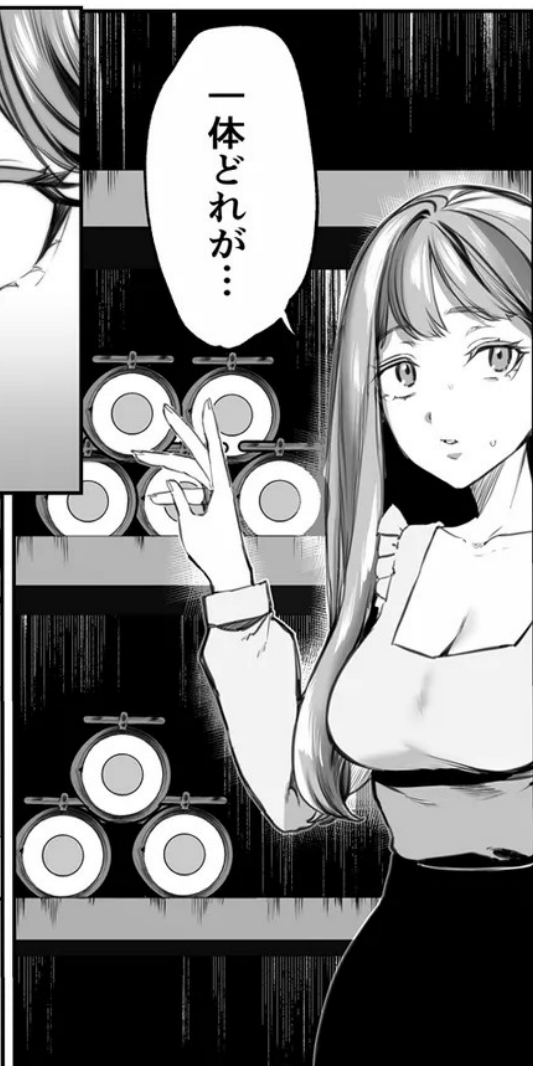




う…わあ…



あ…
これ…
なんか…

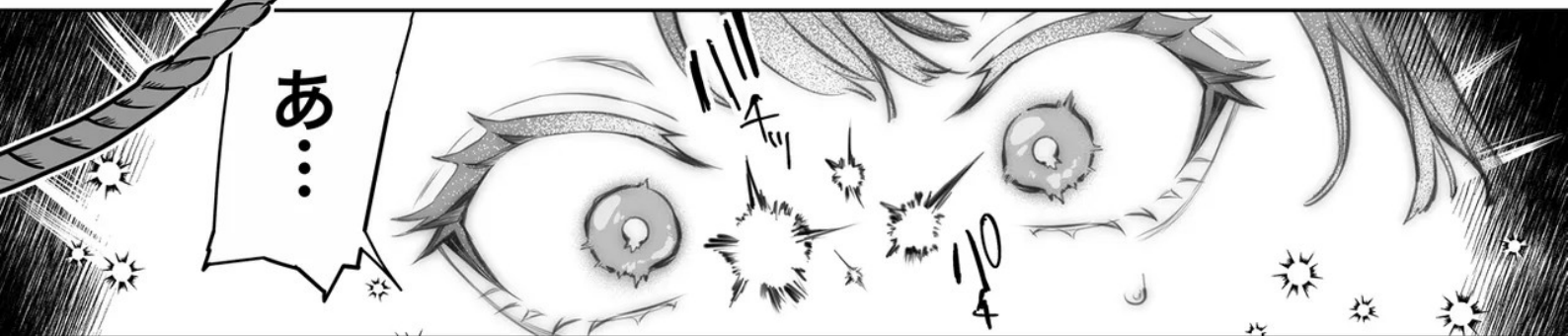
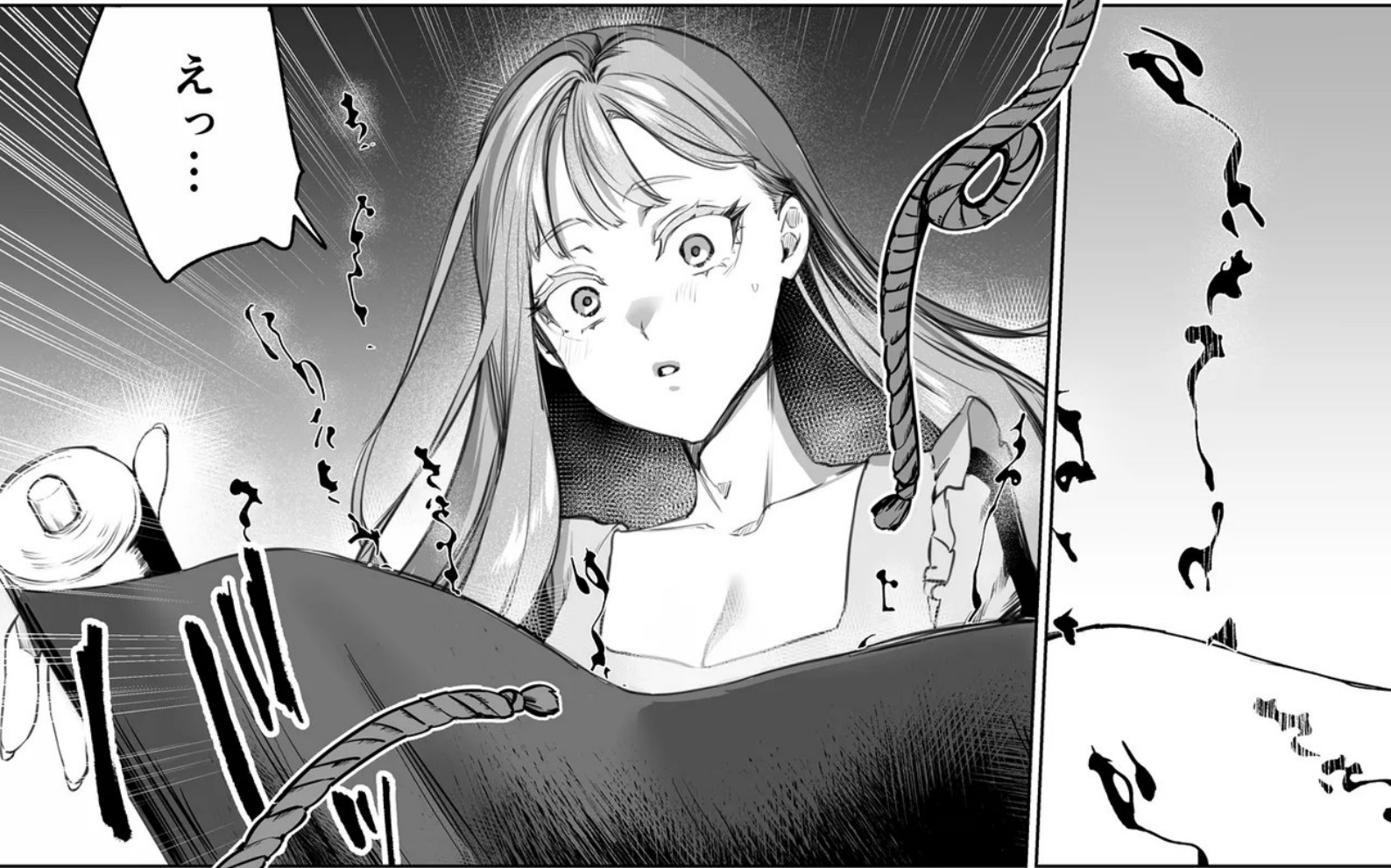
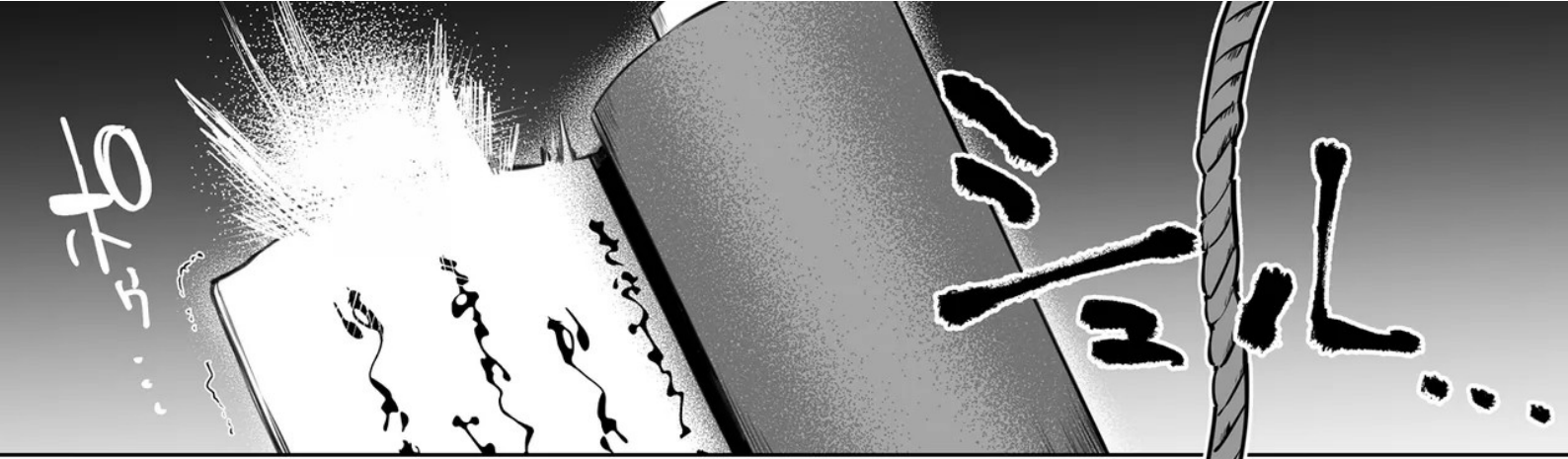


一体どれが…



巻物って…

いっぱい
あるじゃん…





あ…？

お前…

こんな狭めーとこに
何年も閉じ込め
やがって



式神…？

ほお…

もしかして
この人が

なるほどねえ

随分と
イイ女に
なったじゃねえか



あ？

式神さん…

ですか…？

おじいちゃんっ



それより
お前が封印を
解いたってことは

まあ
そんなの一人って
感じだな



はっ...



ジジイは死んだか



俺に何の用だ？

それで

クス...



そうか……

！



祖父の手紙でっ

私が怪物に襲われる
ことを知りました…

今も道で会った
ヤバいののに
追われてっ…

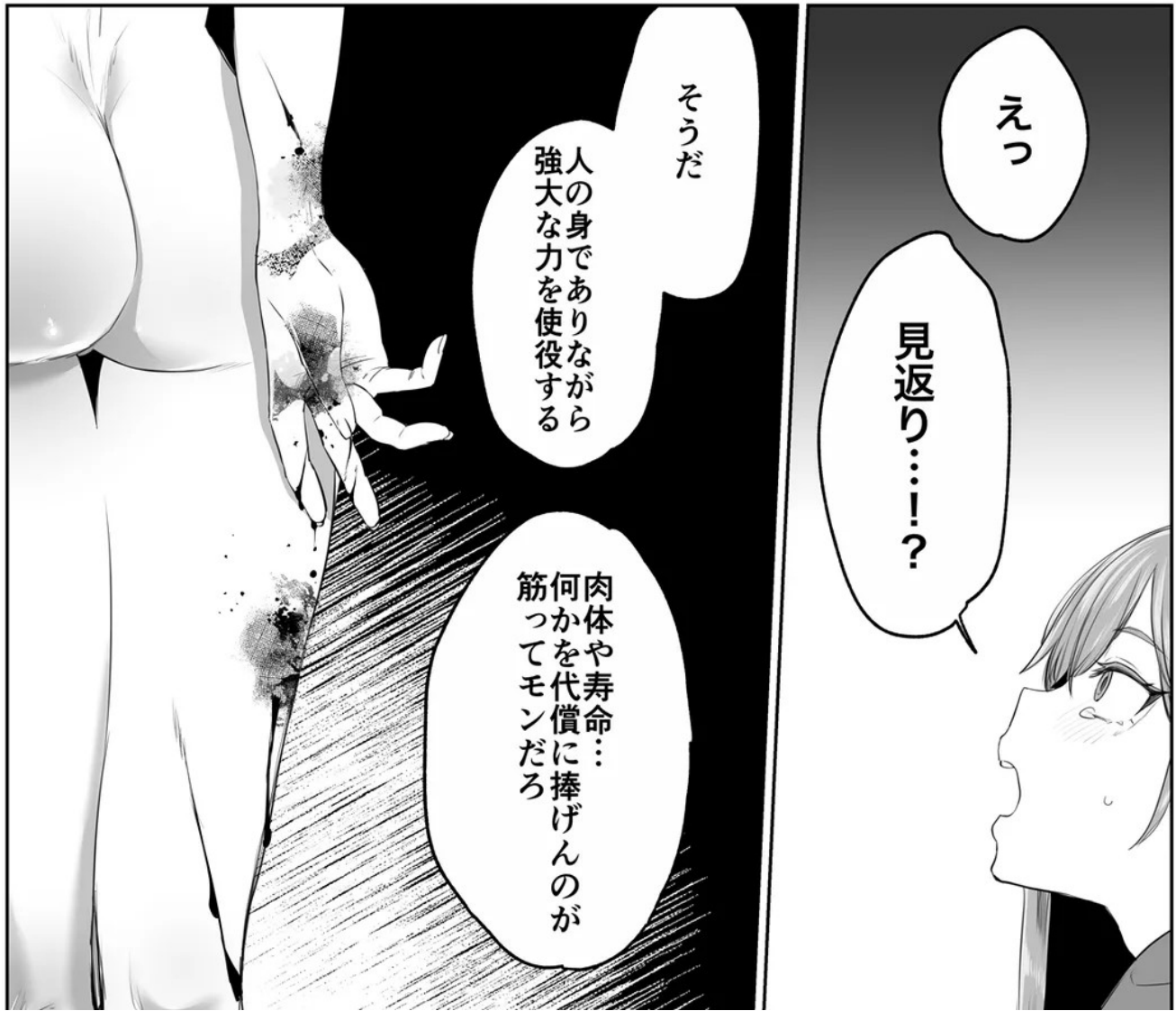
助けてほしいんです…!



お願いします…

お願いも
イイんだけどよ

俺への見返りは
なんだ?



えっ

見返り…!?

そうだ

人の身でありながら
強大な力を使役する

肉体や寿命…
何かを代償に捧げんのが
筋ってモンだろ

身体や
じゆ、寿命…を
代償に…!?

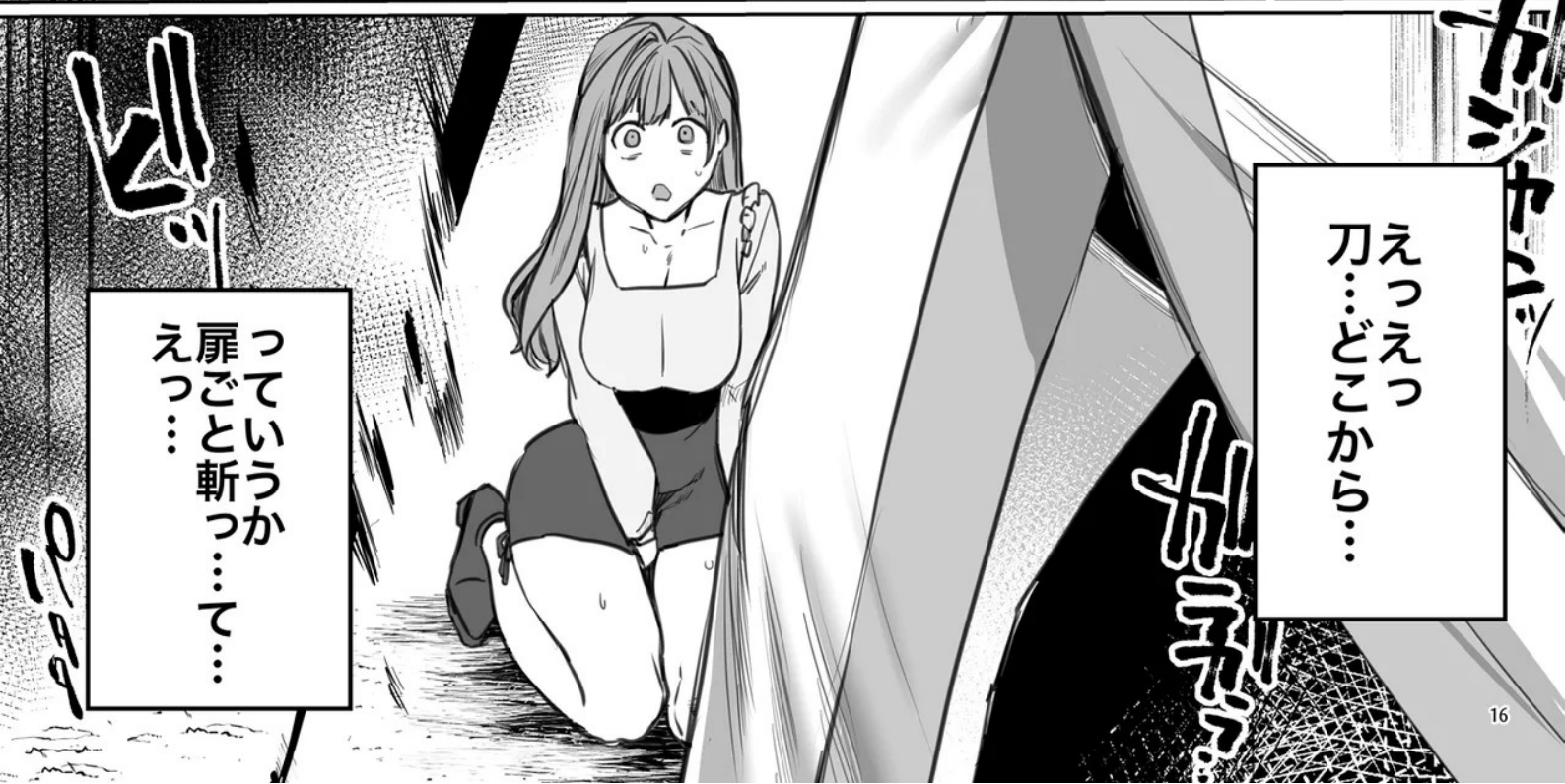
そんなのどこにも
書いてな……

ッ…わかり
ました!

なんでもするから
助けてください……!!

どうする

下がってろ



えっ…
…って…
…うか…
…扉ごと斬つ…
…て…

えっ…
…えっ…
…刀…
…どこから…



何を呆けている

あっ

えっ

なみ

腰抜けちゃった
みたいで...

立てなくて...

ほう

手間が省けた



ちゅっ...

なっ…

ちよっ…

ムル…

んっ…

ぶっ…

ちゅっ

うそっ…
舌…入っ…て…!!

ムルッ

ムルッ

ムルッ

ムルッ

ムルッ

ムルッ

ムルッ

お？

随分抵抗すんじゃないか

見返りは
くれねえってか？

ムルッ

ムルッ



えらくイイ身体に育ったじゃねえか

きゃっ...

はっ

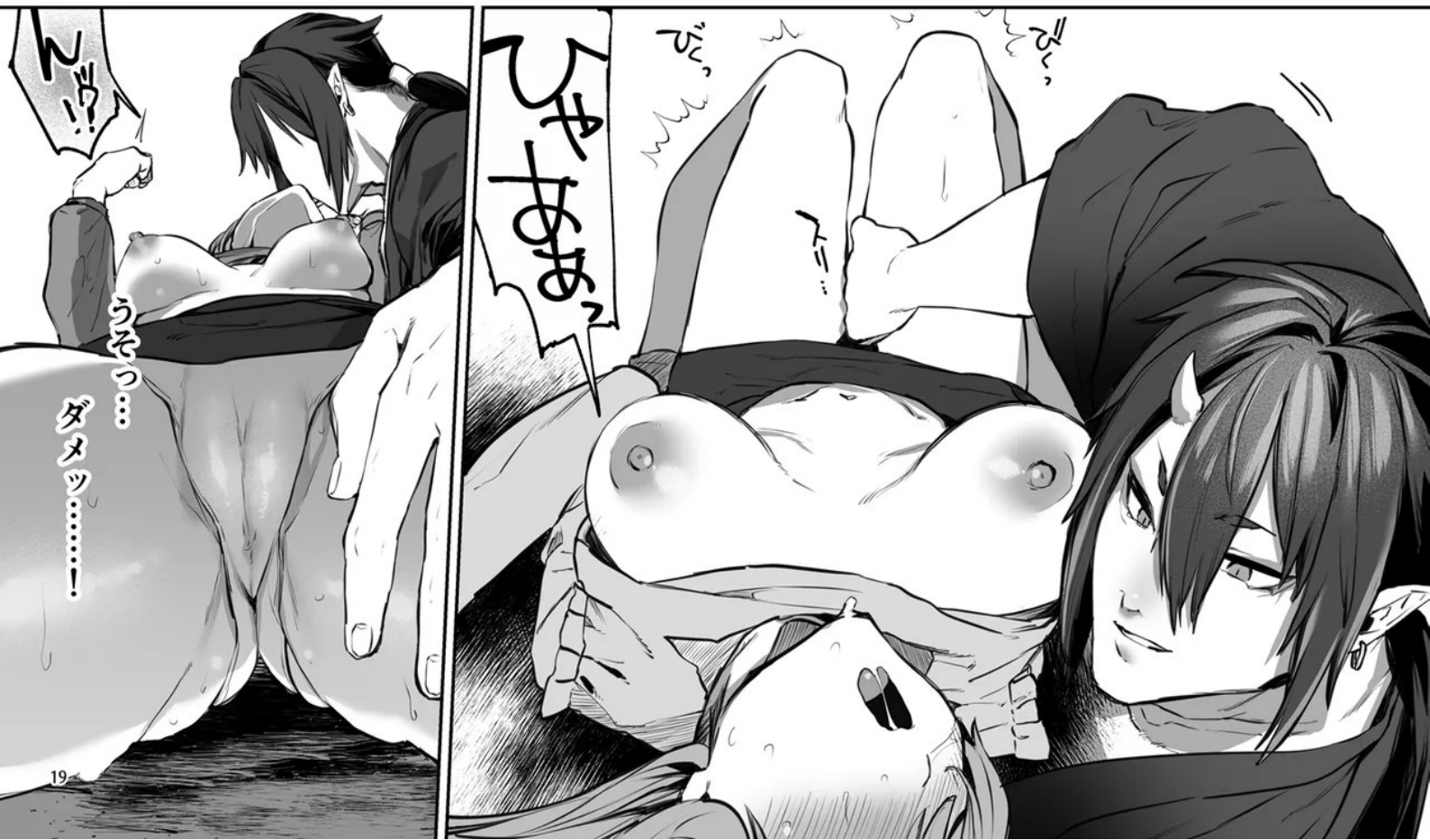
おっ

おっ



ん???

あ!?!



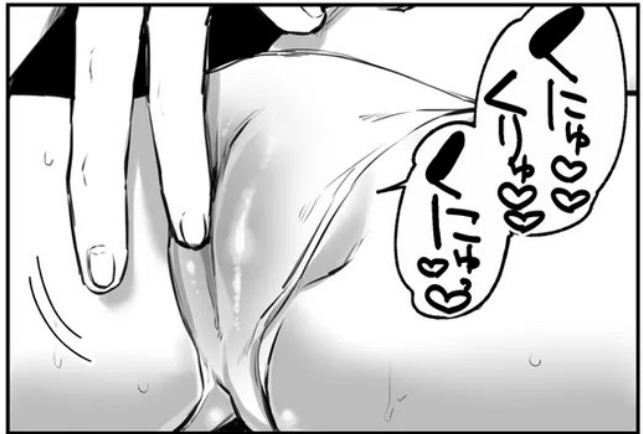
ん!!

うそっ...
ダメッ...!!



おっ...お股さわってるの...!?

や...やだっ...



あれっ...
し頭ぼーっと

暖かくて...
気持ちよくて...

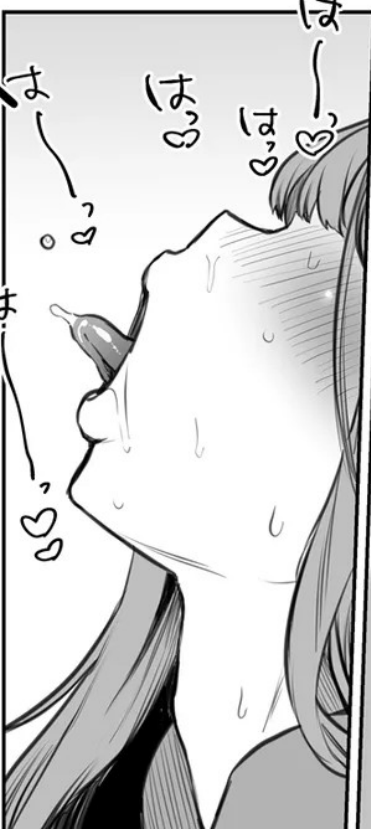


初めてのはずなのに...

嫌なはずなのに...

抵抗でぎなッ...

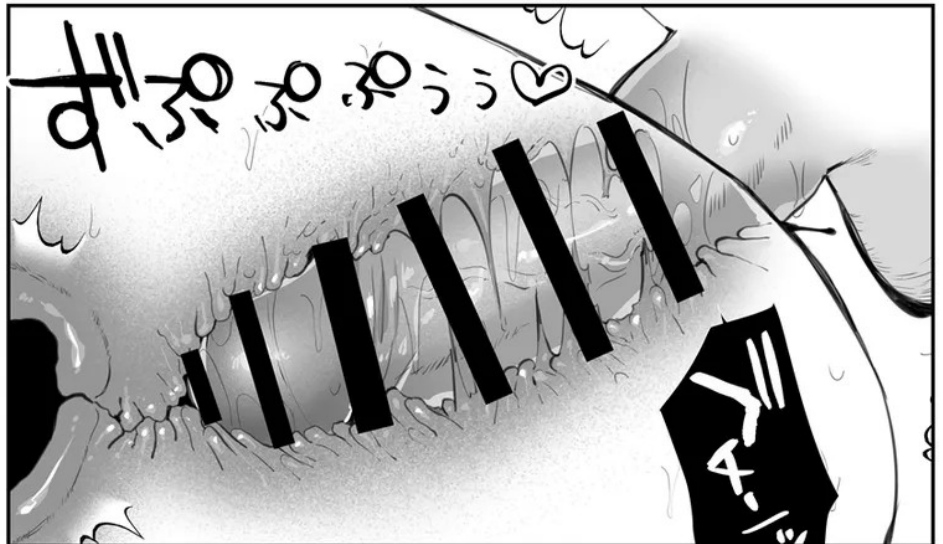
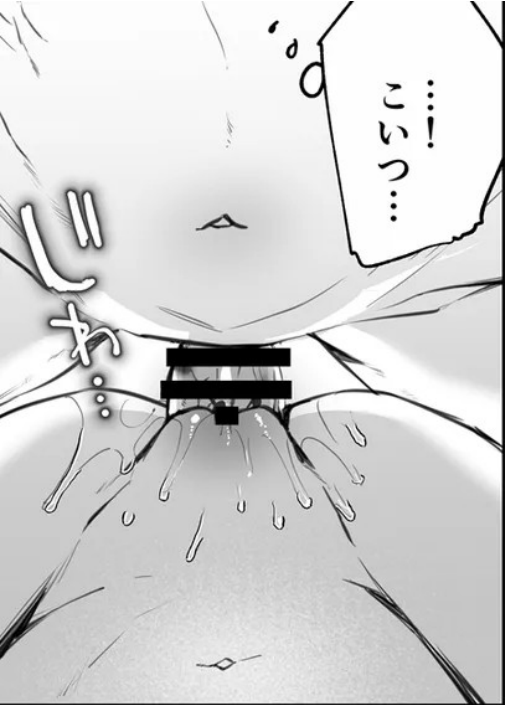
心地いい...
安心する...













あ…やばいこれ

気持ちいいの
いっぱいくる♡

気持ちいいので
あたちやうぱいに
な♡

はあ♡♡♡
式神しゃん♡

ほんとうに♡
しんじやうからあ♡

おねががいい♡

やめろ♡



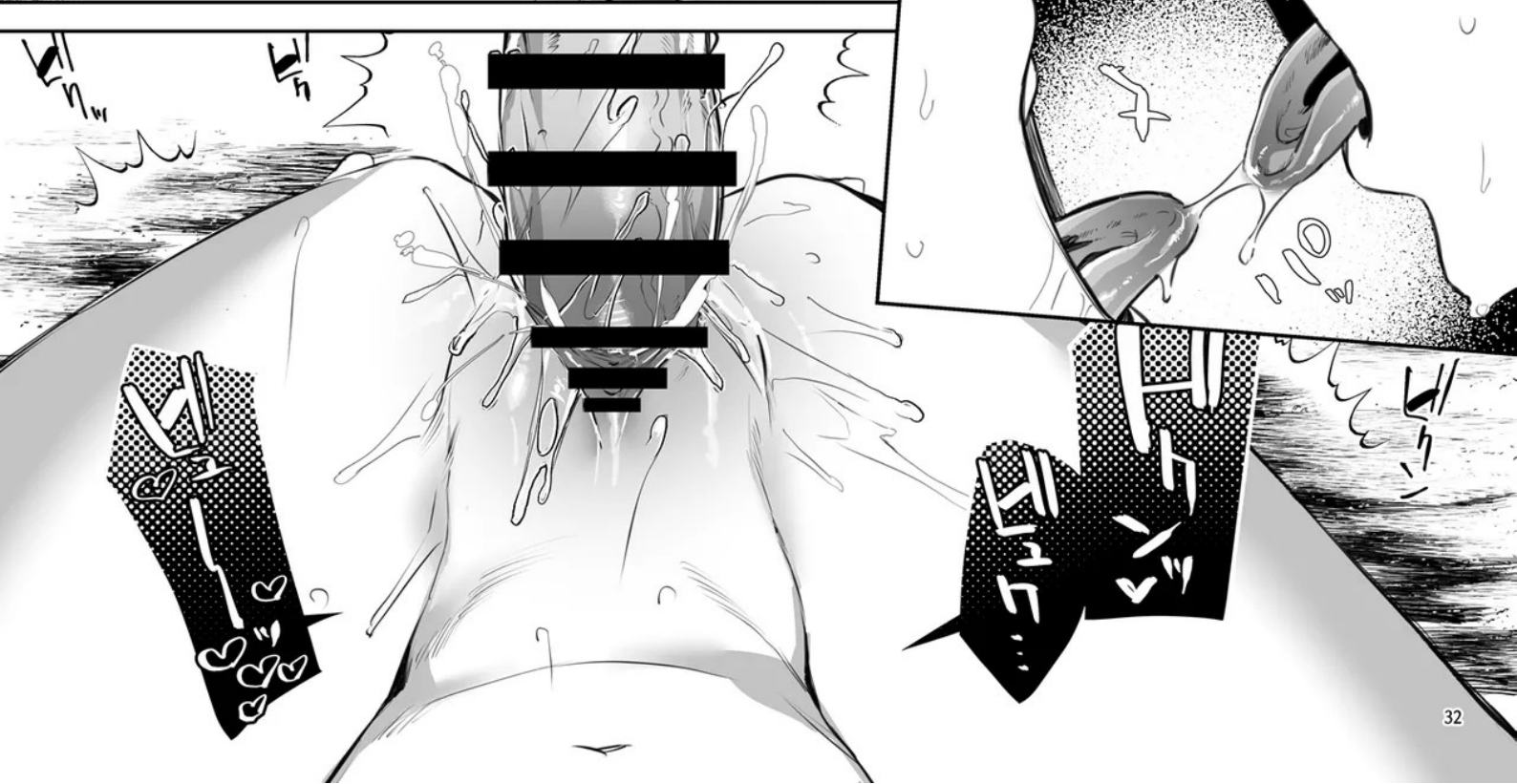
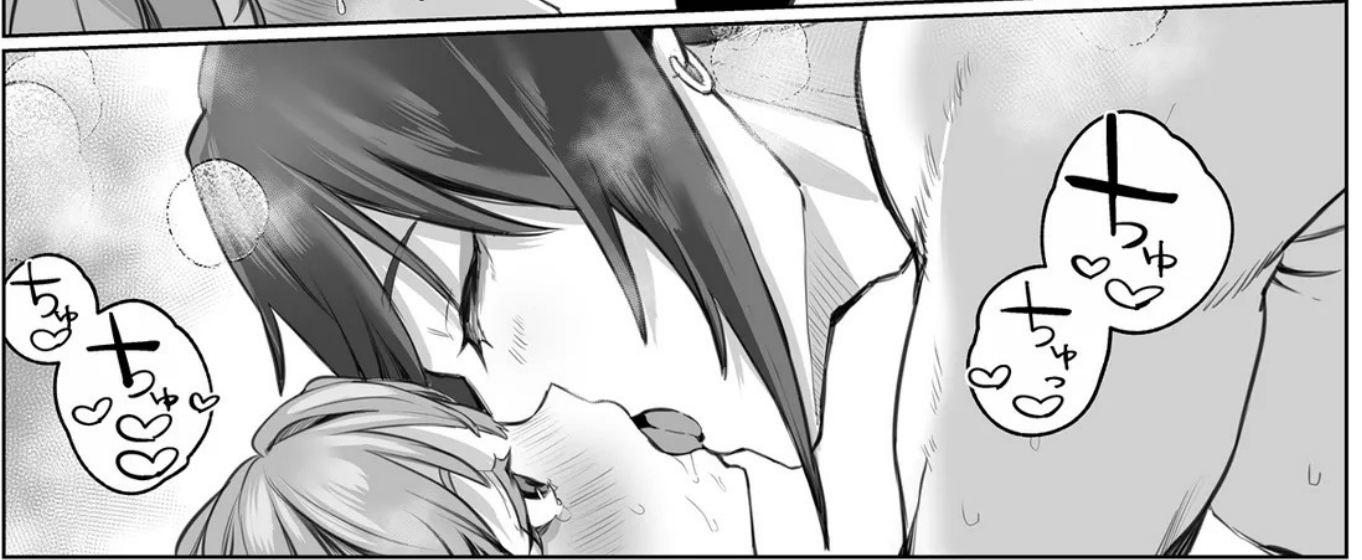
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

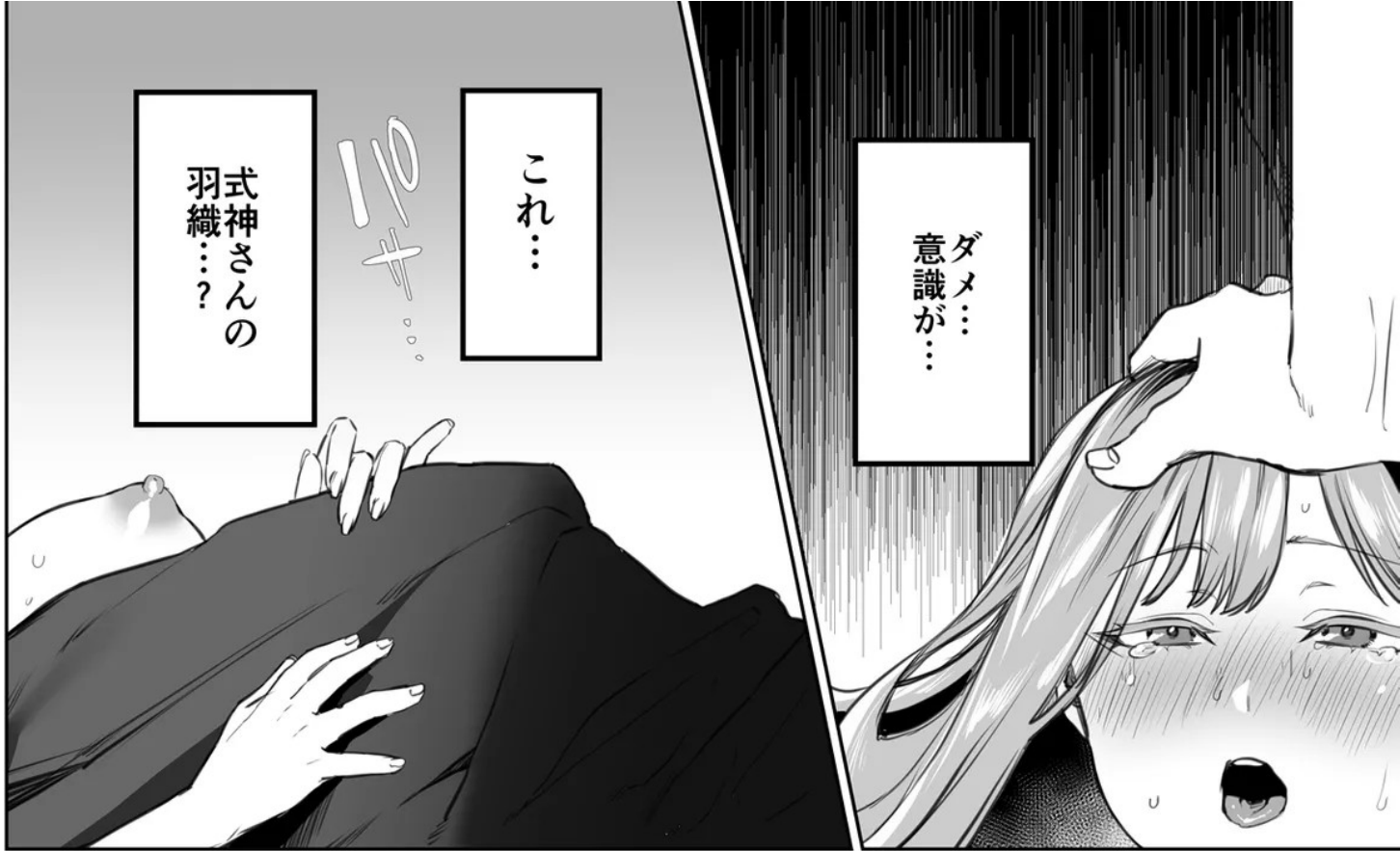
熱いの...びちびち当たって...♡

なにこれっ...奥っ...♡

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...





式神さんの
羽織…？

1/0
+

これ…

ダメ…
意識が…



なんでだろ…

すごく安心する…



何を言う



ちょっと手狭かも
ごめんなね

今は
一人暮らしなの



意外と
質素…！

もっと狭いな
って…



それよりこれよ



人は日に
米は三合

畳は一畳
あれば十分

でもっ
私18歳になったから
ばっかりなんだから

うちにお酒は無いし
買ってくるなんて
無理だからね!

Oh

何!?

俺を喚ぶのに
酒の一合も
用意してないだと!

何ということだ…

まっ…



何年ぶりに
おうちで人と
過ごすんだらう



祖父が他界してから
ずっと一人だった…



さみしく
ないんだ…

もう
ひとりじゃない…



何笑ってんだ?

えっ!?





何年も
寝てたんだから

お腹空いてない!?

そうだ!



言ってくれれば
大体何でも
作れるし:

あ、やっぱり
和食が好き?

うんっ

…メンツ?

見た目

一歩

一歩



えっ

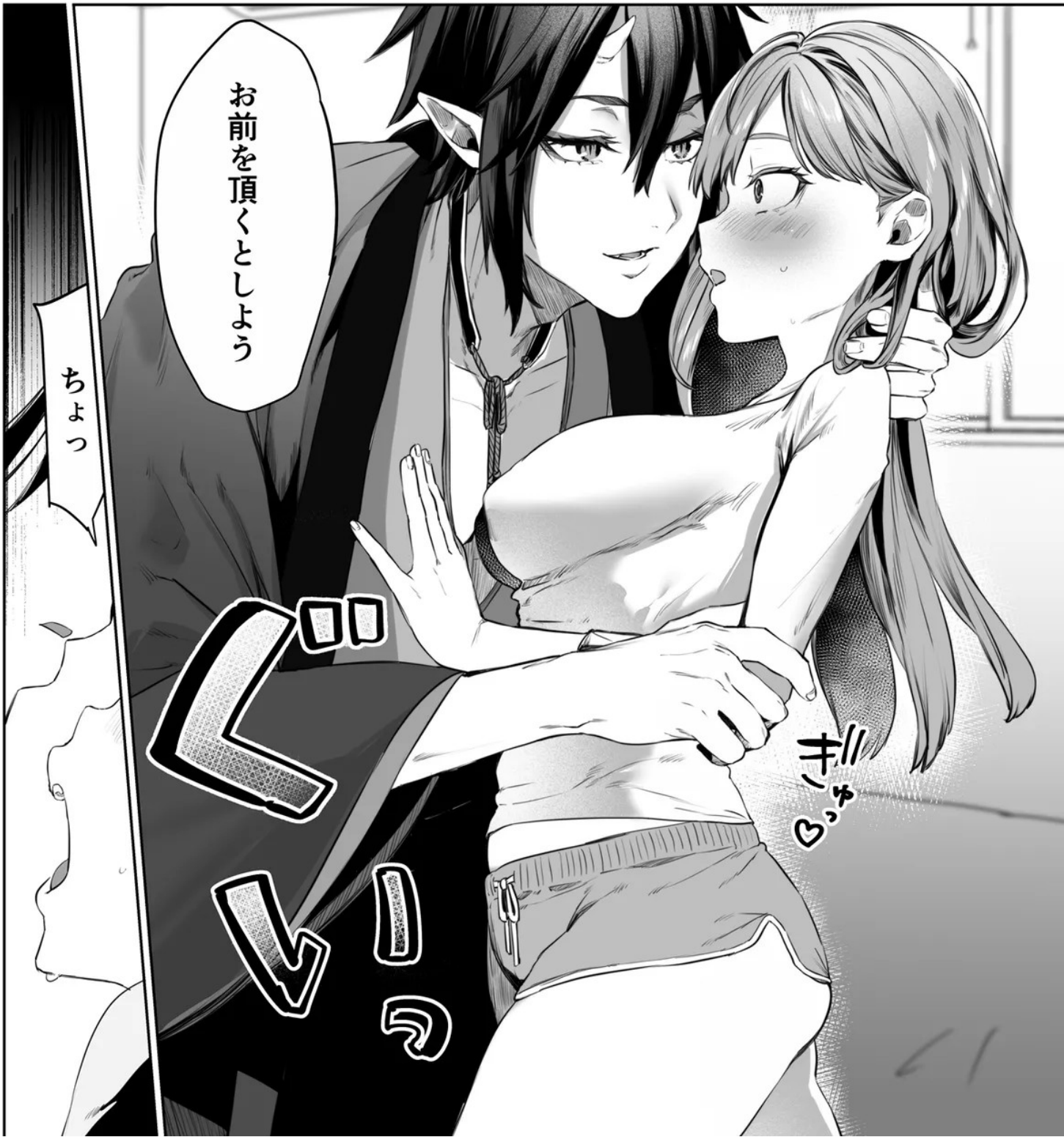


なにになにっ？

決めた！

おお

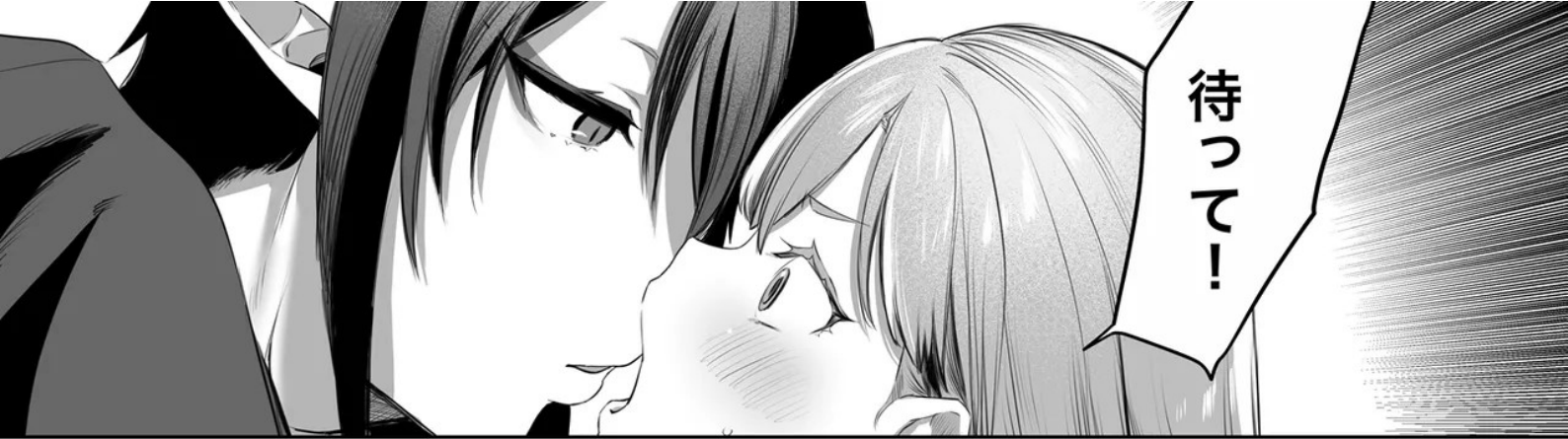
あ



お前を頂くとしよう

ちよっ

キッ
ハッ
♡



待って！



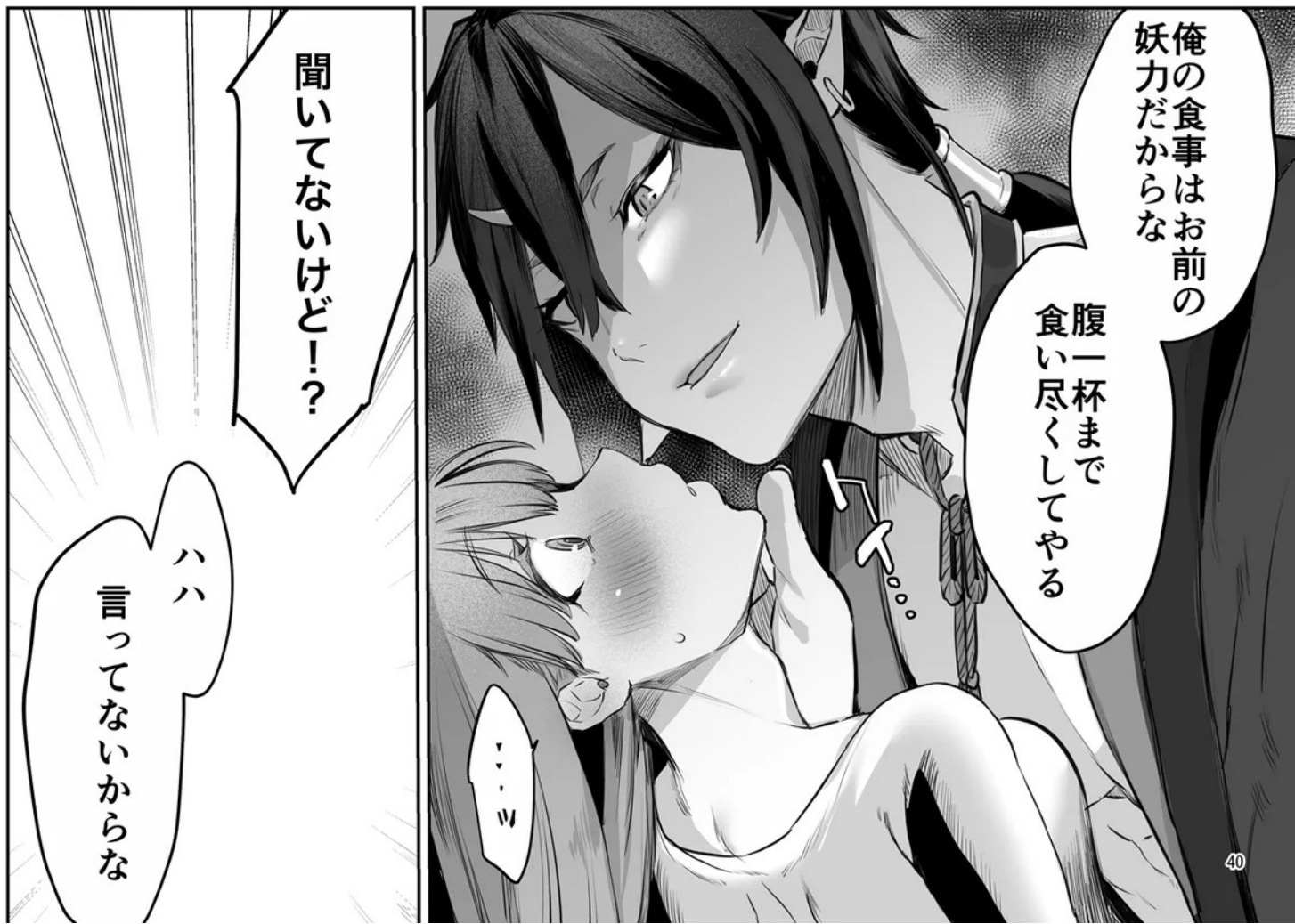
じゃ…じゃあ

ごはんって
どうするの？

食べなくて
いいの…？

ズズ…

ああ、心配いらん

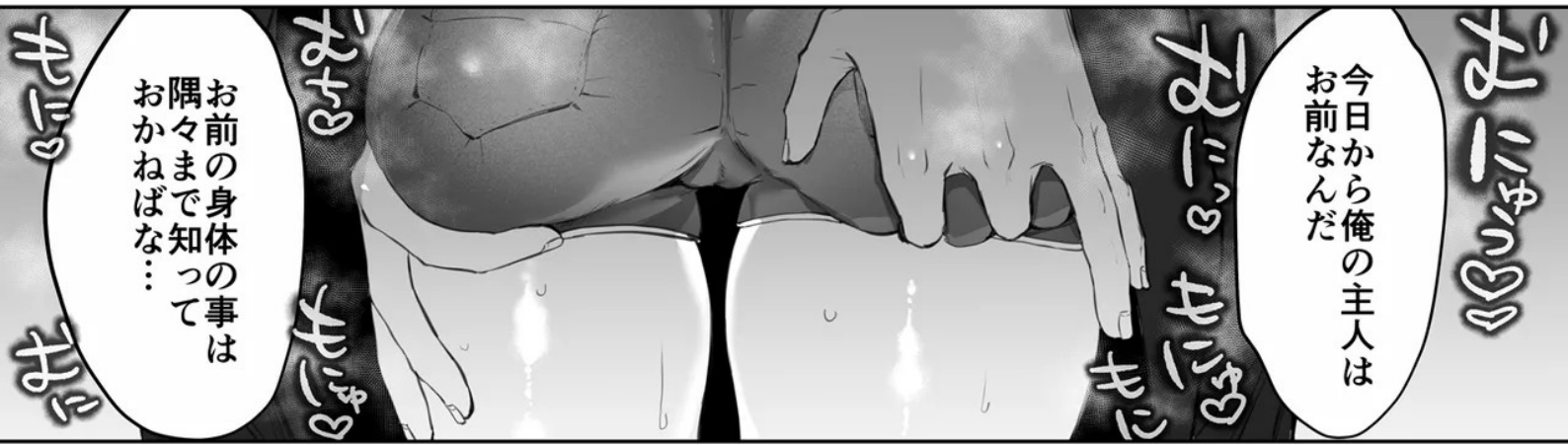
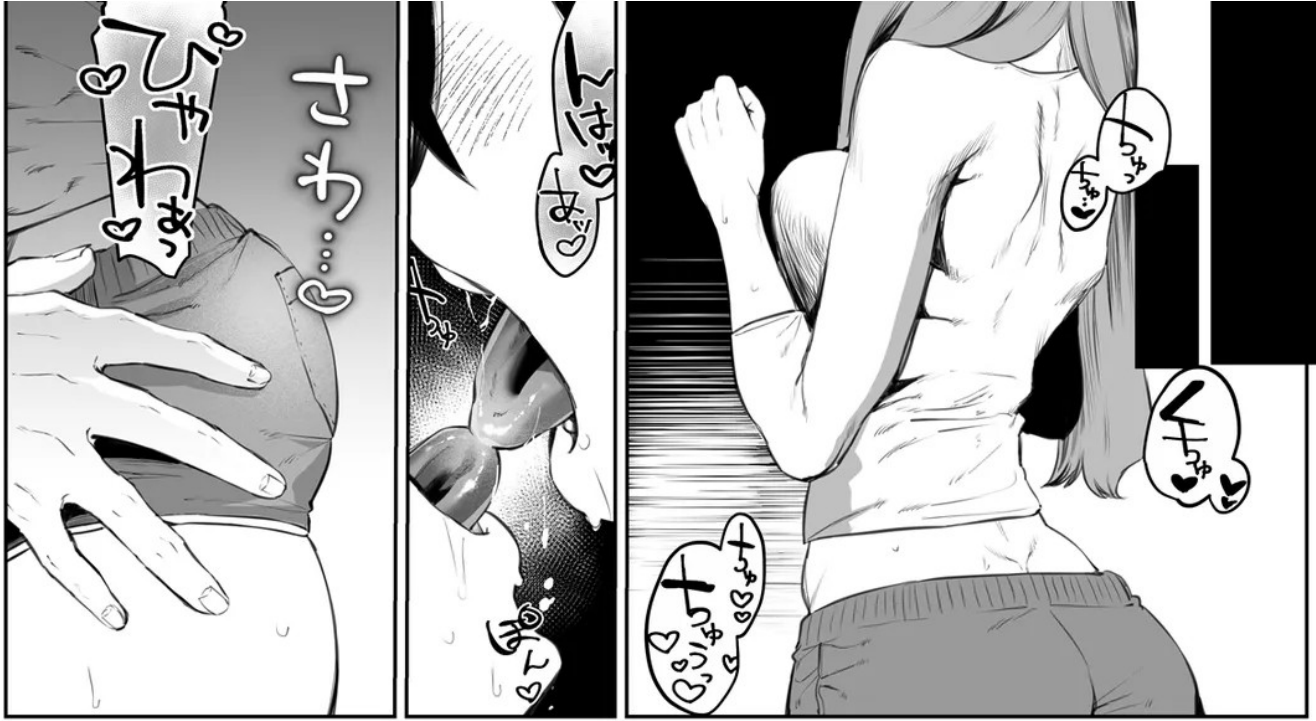


俺の食事はお前の
妖力だからな

腹一杯まで
食い尽くしてやる

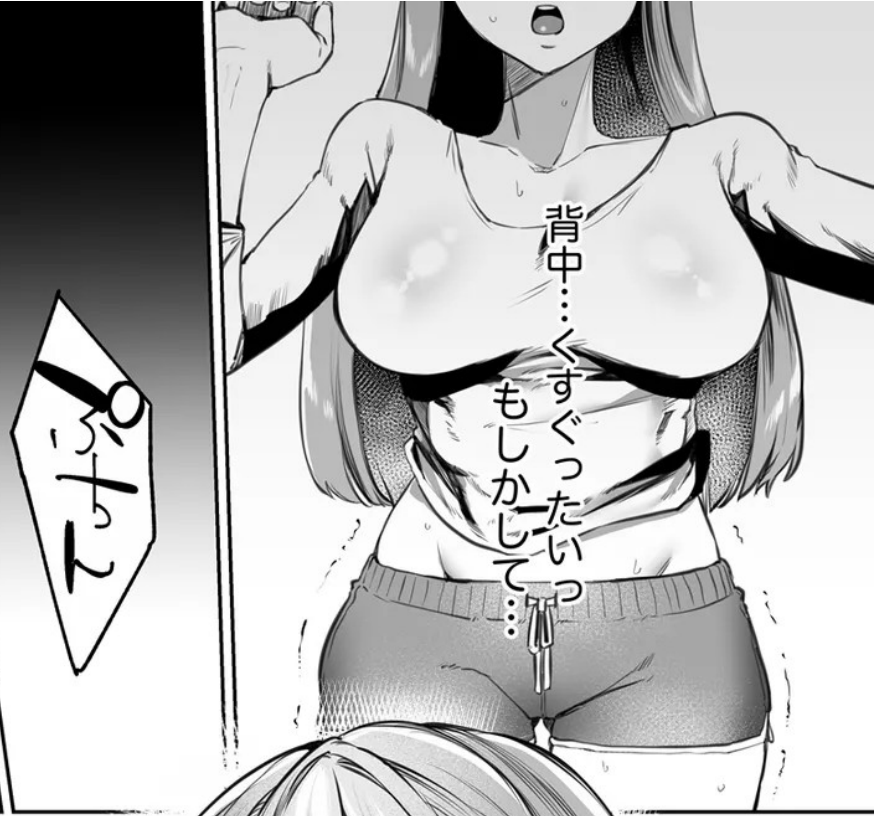
聞いてないけどー？

ハハ
言っていないからな





ほれ



背中...くすぐったいっ
もしかして...



んっ♡



あ...

あ...ブラだけ脱がされて...



言わないのか？

なんだ

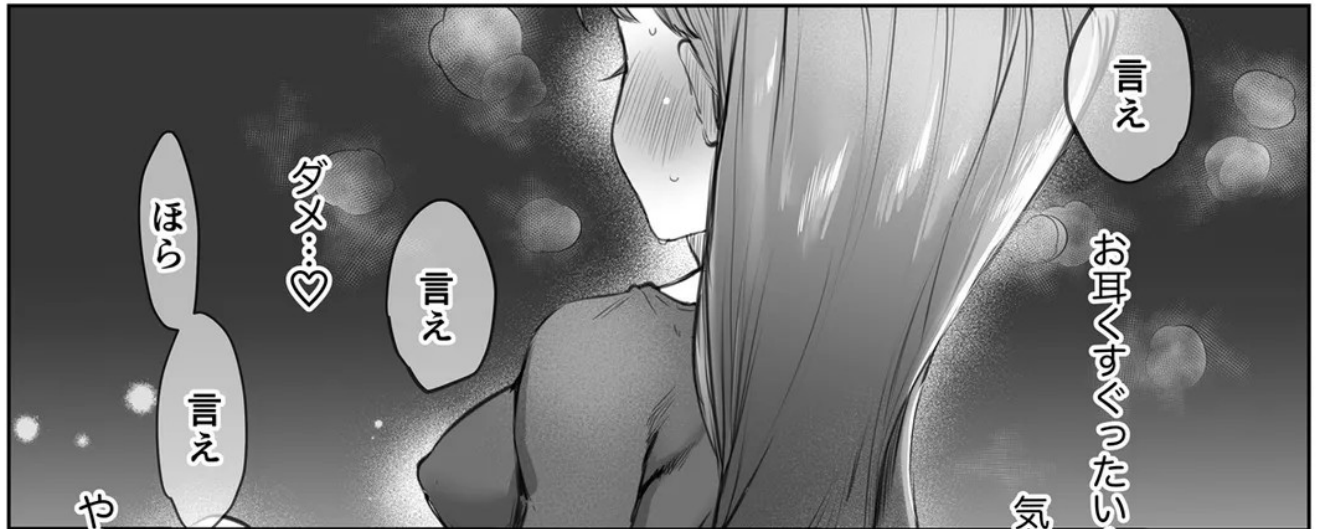


スリ...



触ってほしいと

素直に言え



言え

お耳くすぐりたい...

気持ちいい...

言え

ダメ...

ほら

言え

やめて...



ああ...



気持ちいい...♡♡♡



耳から背中からの腰まで

電気が走るみたいだよ



ゾクゾクする...

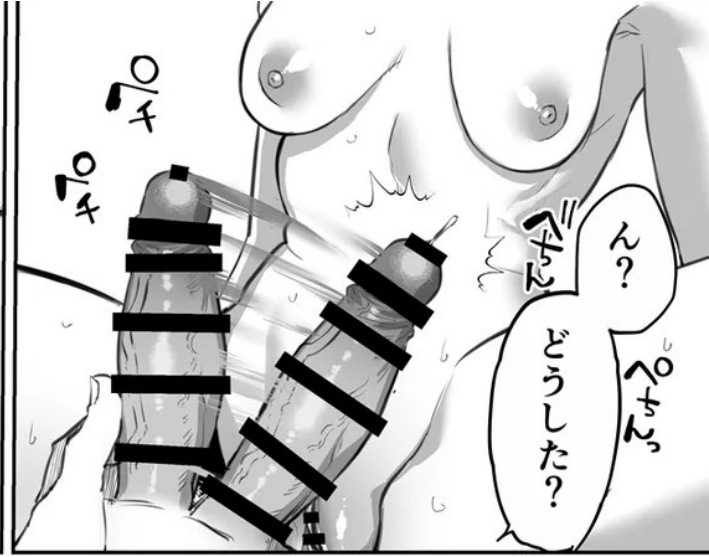
はっ♡はっ♡



主人の身ながら
式神に主導権を
握らせるとはなあ

指ぶっこ♡気持ちいい♡







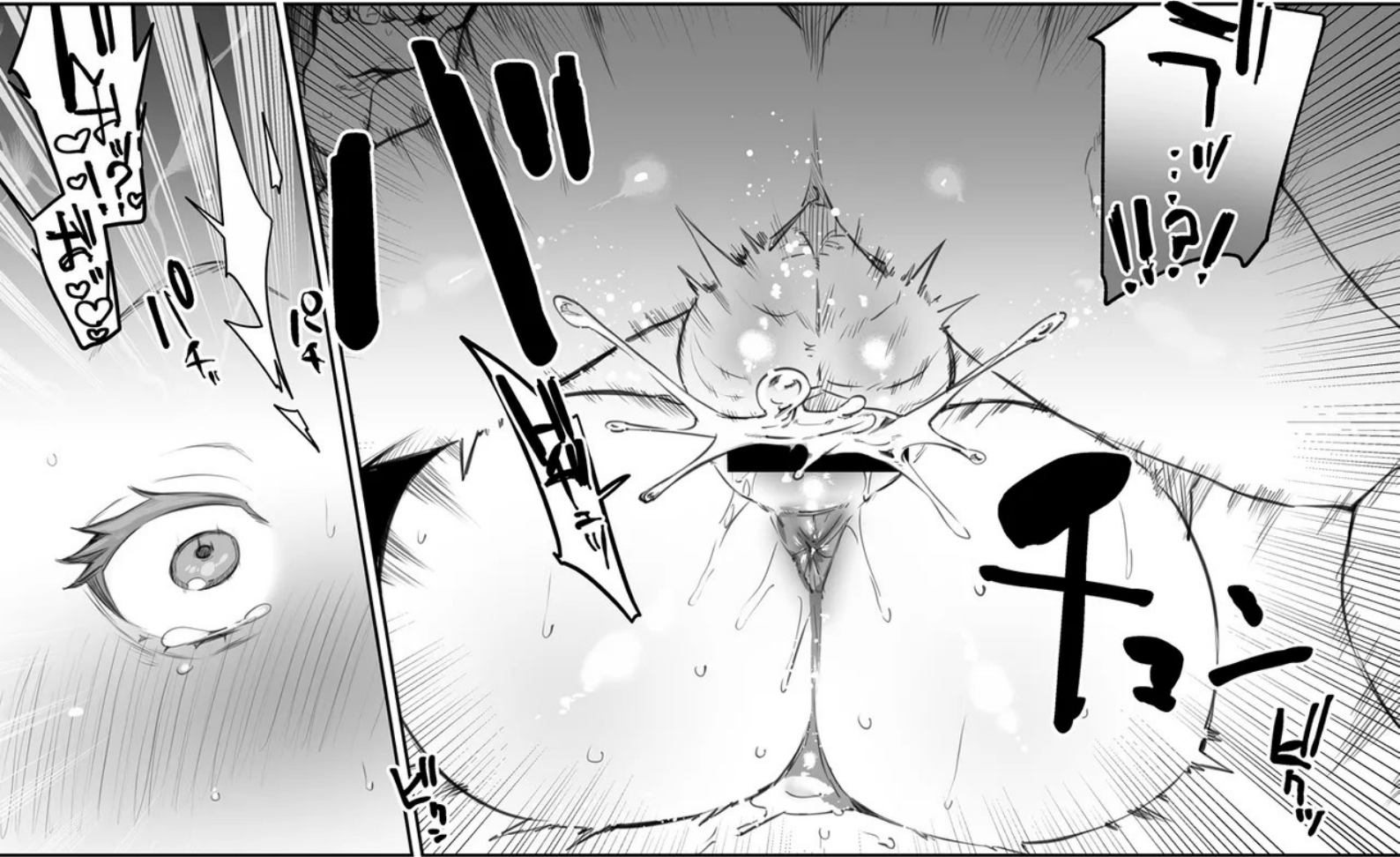
ふっ



だいな

とっ...♡

それで



キーン!!

ドン

ガッ



だめっ

あっ

あっ...

クワッ

クワッ



潰れるっ♡

んおめ♡

子宮っ♡

ミキ

ミキ

んおめ♡



式神さんの
魔力供給なのにつ♡

私が入持ちよく
なっちやっ♡

んおめ♡

んおめ♡

んおめ♡

んおめ♡

なア...



すきなの♡

スッスッ♡

スッスッ♡

スッスッ♡
スッスッ♡
スッスッ♡

スッスッ♡

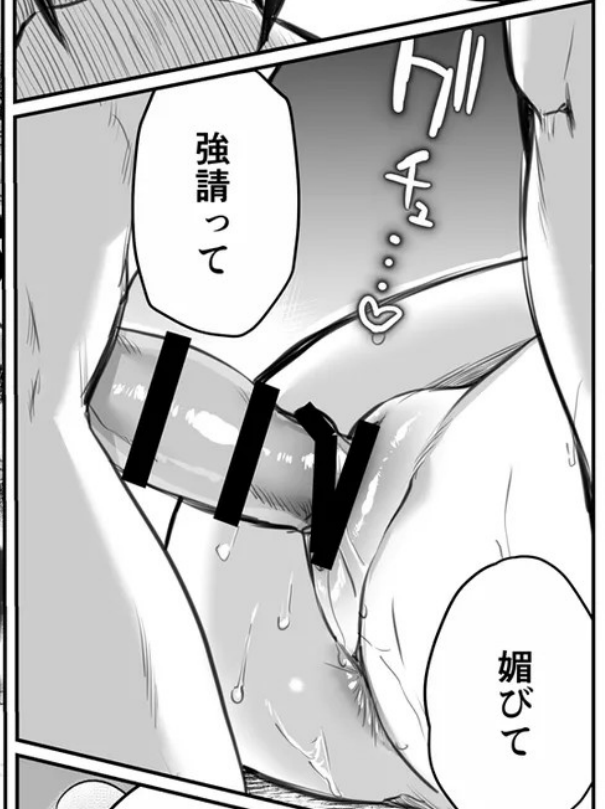
スッスッ♡

スッスッ♡
スッスッ♡
スッスッ♡

スッスッ♡
スッスッ♡
スッスッ♡



自分の使役する式神に組み敷かれ



強請って

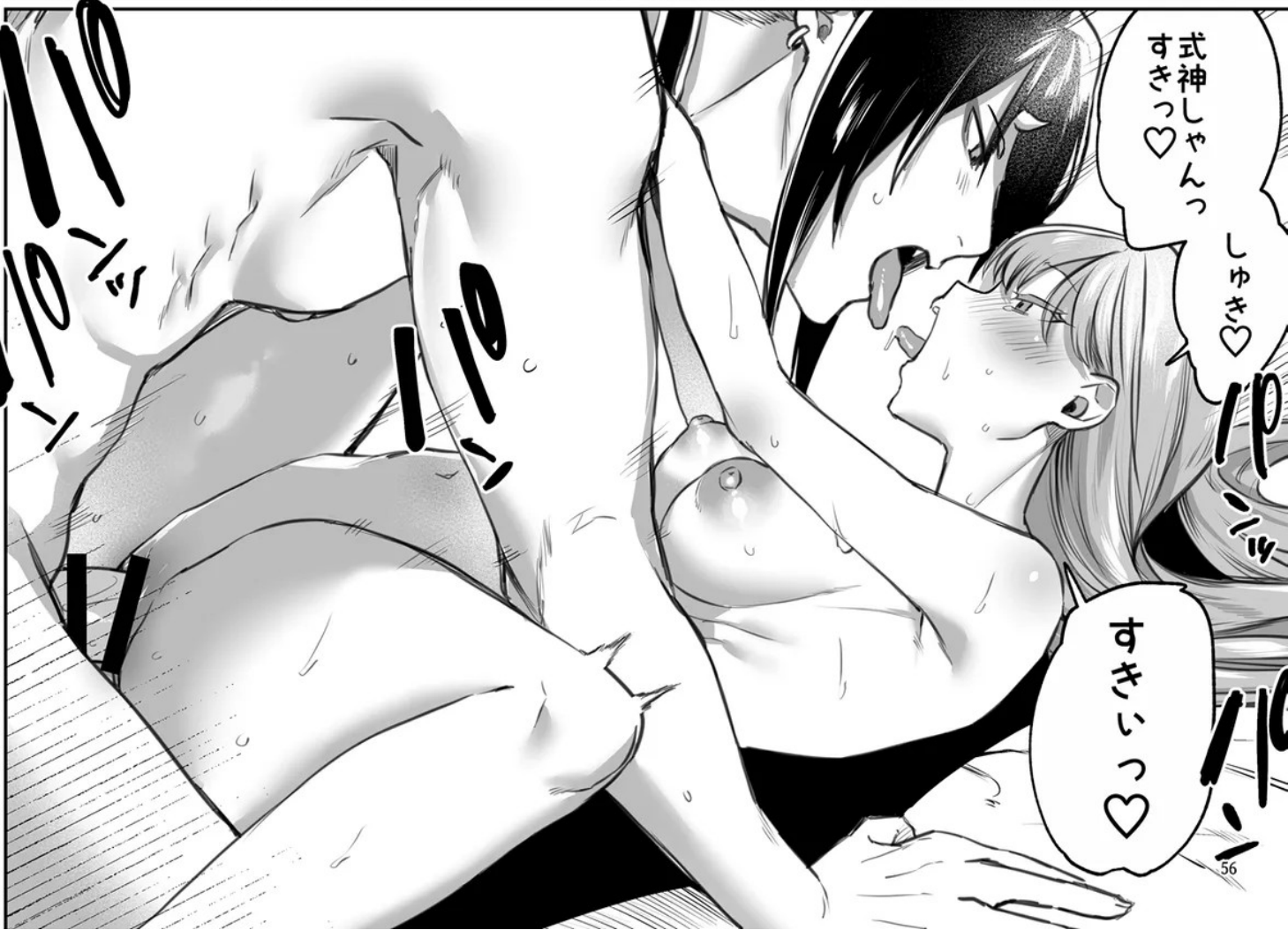
媚びて

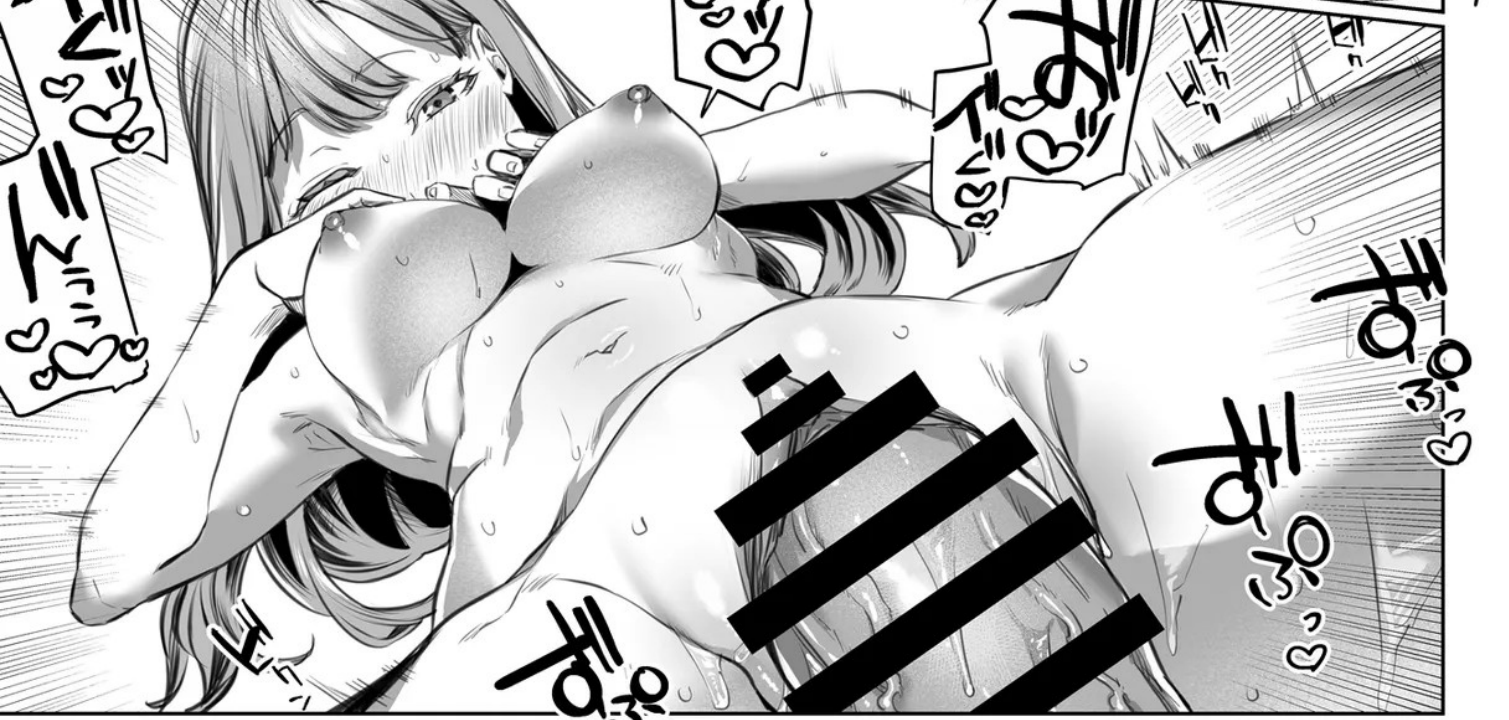


文字通り「使われて」
恥ずかしくねえのか？

あ♡
あ♡

あ♡





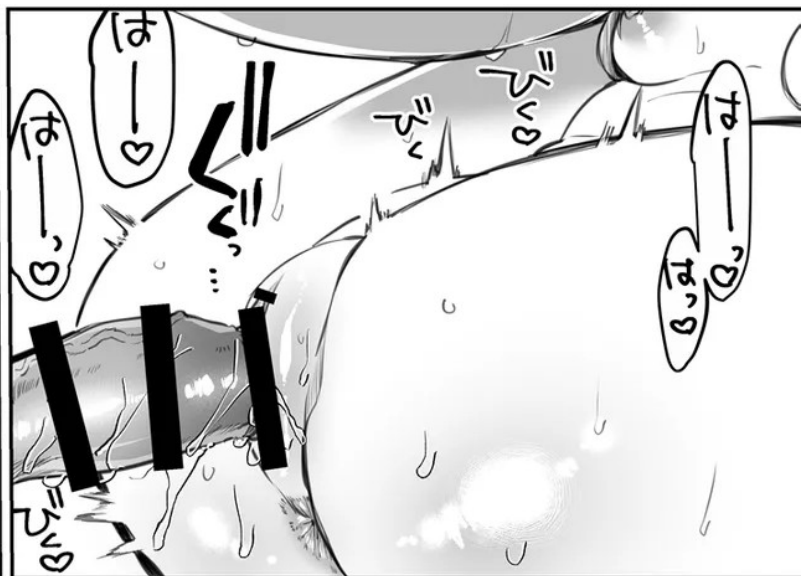


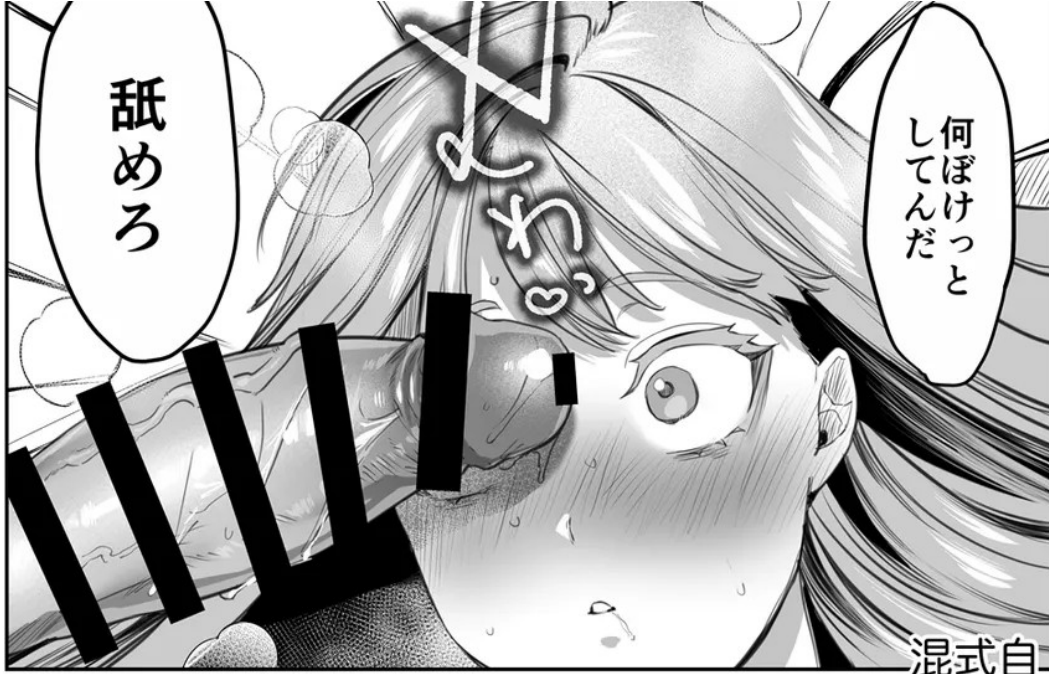
締ま...
ミ...

...うへ

ははは
ははは
ははは

ははは
ははは
ははは





舐めろ

何ぼけっと
してんだ



もう…
動けな…



自分の愛液と…
式神さんの精液が
混ぜあって…



美味しくない…
はずなのに…

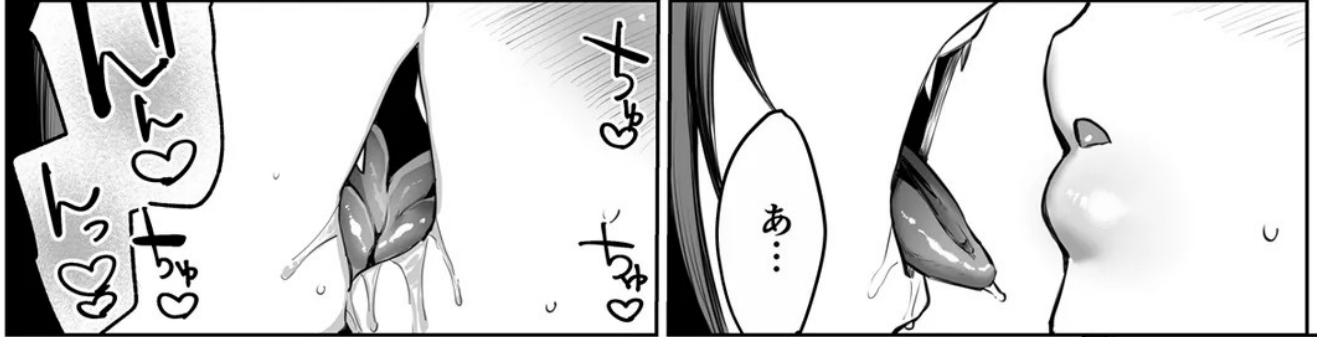
んんん

んんん

好きっ…♡

んんん

んんん♡





私の身体
式神さんの形になっちゃおう♡

これダメッ♡

完全にハマっちゃってる♡

あつダメ…♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

射精されながら
奥突かれてっ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

オイ

オちてんじゃ
ねーぞ

壊れちゃうっ…♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡



またイクッ♡

イクイク♡♡♡

おもしろい♡♡♡♡♡

アアア...

♡♡♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡



ムム...

ムム...

♡♡♡♡♡

ムム...

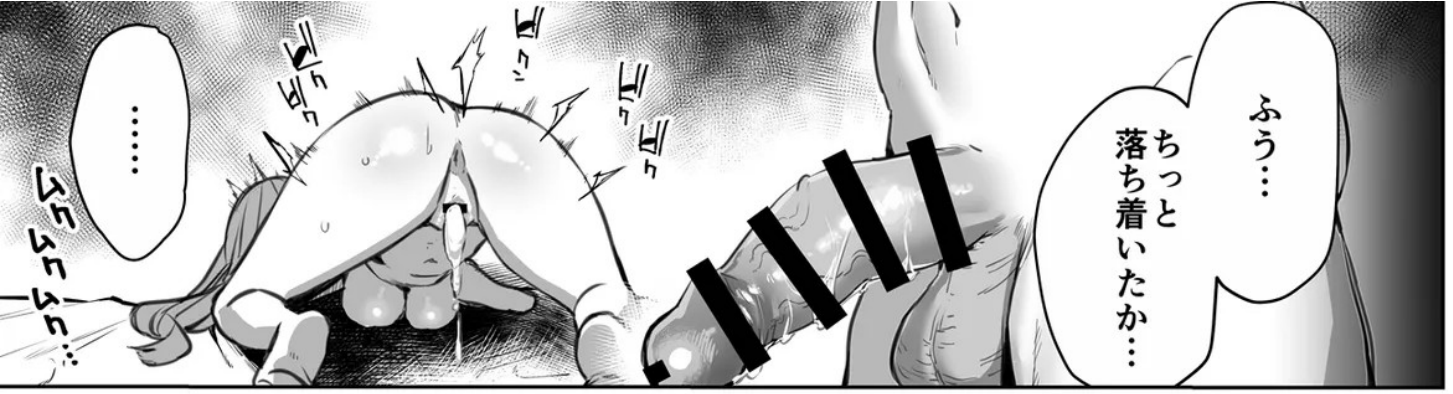
ムム...

♡♡♡♡♡

ムム...

ムム...

ムム...



ちっと
落ち着いたか…

ふう…

……



垂れ流しで
気絶すんな

誘ってんのか



おっ出る出る


これももう腹
満タンなん
じゃね？

もおっ…
こんなっ
ぐちゃぐちゃに
することない
じゃん！



鬼！
悪魔っ！

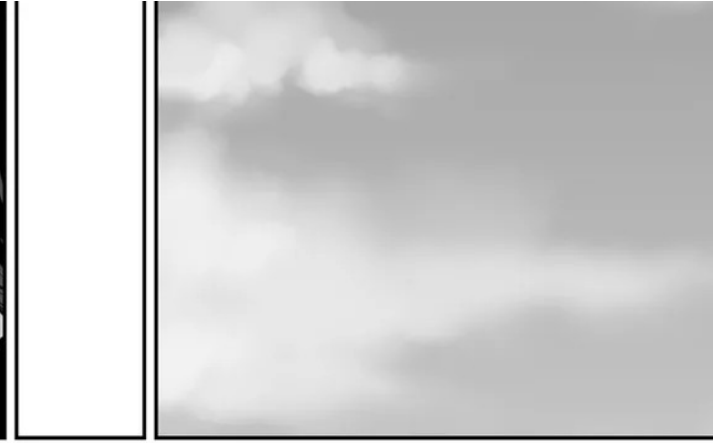
ハッ
ハハハハ



まさか今頃気付いた
訳ではあるまいな

俺は真正銘
本物の鬼様だよ

バーカ





無防備に
グーグー
寝やがって

一応
男いるんだから
心配しとけよ…



はあ…

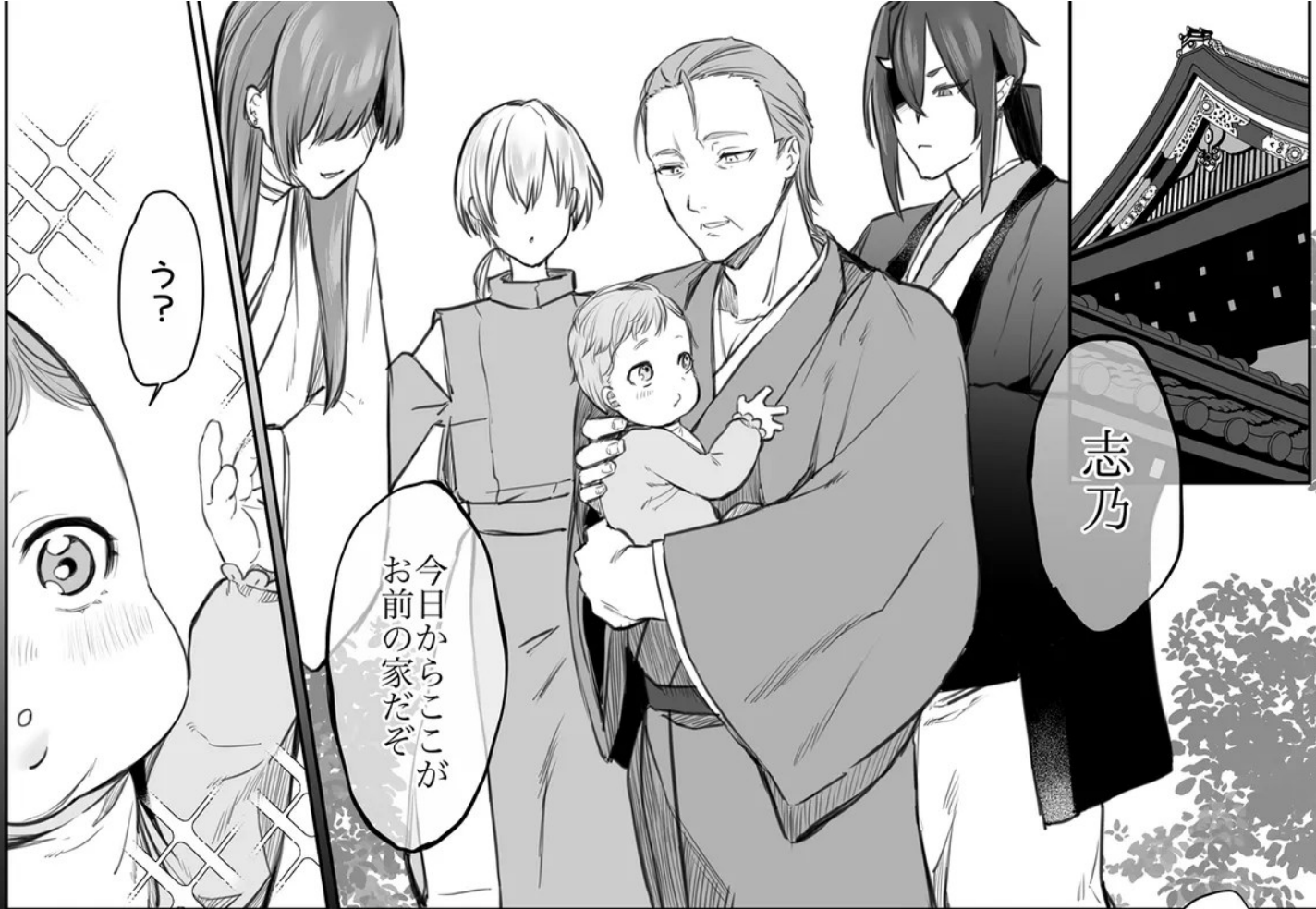


うお

やわらけ…



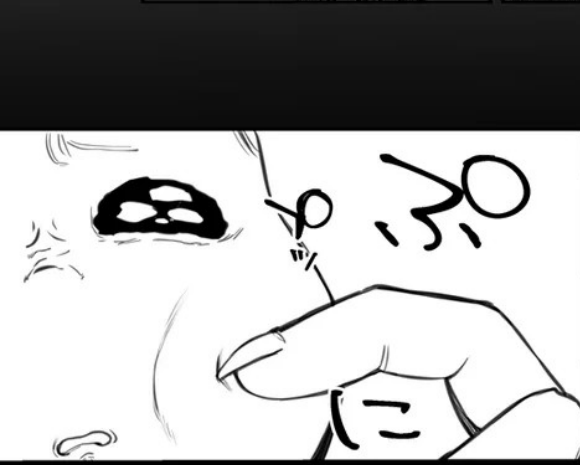
ここは昔と
変わんねえのな



う？

今日からここが
お前の家だぞ

志乃



おいジジイ

まさか俺らも
このガキのお守り
させられるってワケじゃ
ねえだろうな



びゃああああっ

は!?

何でだよ

お前自分の
爪見ろよ



本当手間のかかる
ガキだぜ...

女
ぶ

つたく

おわッ

カ
ッ



きゃはは

待てコラ!

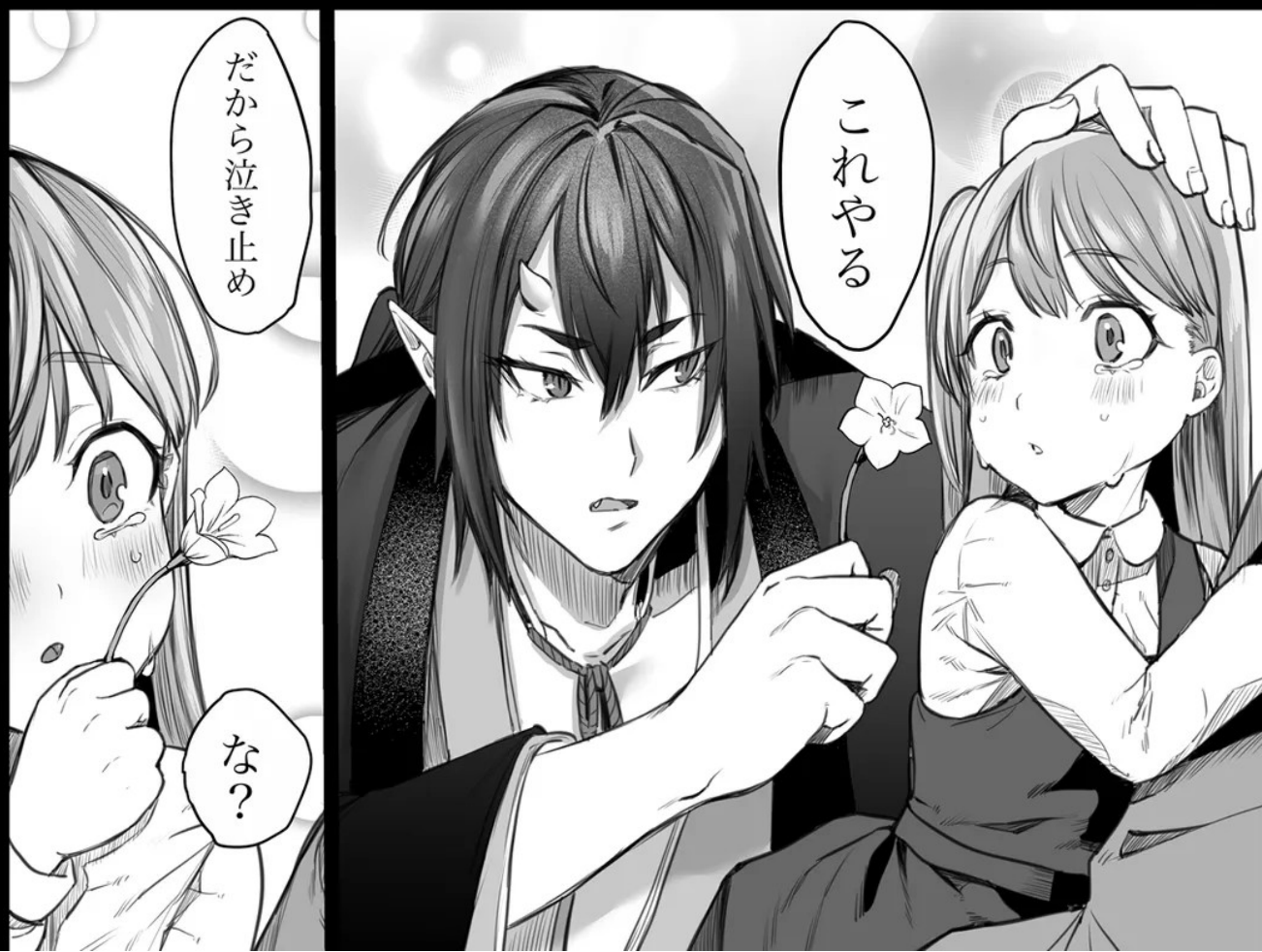


オイ

どうしたものか...

今日は一段と
ご機嫌斜めだな...

ああん



だから泣き止め

これやる

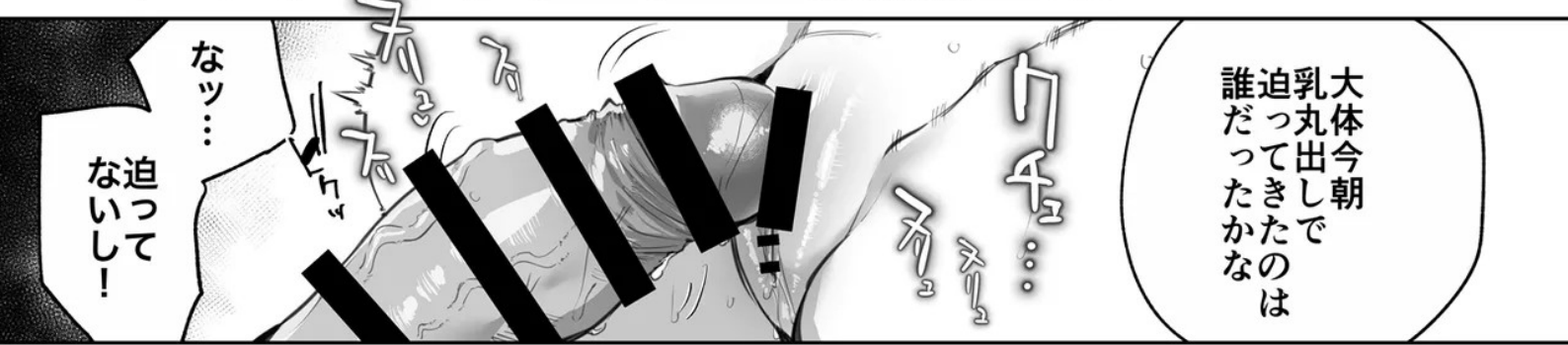
な?







ツ……♡

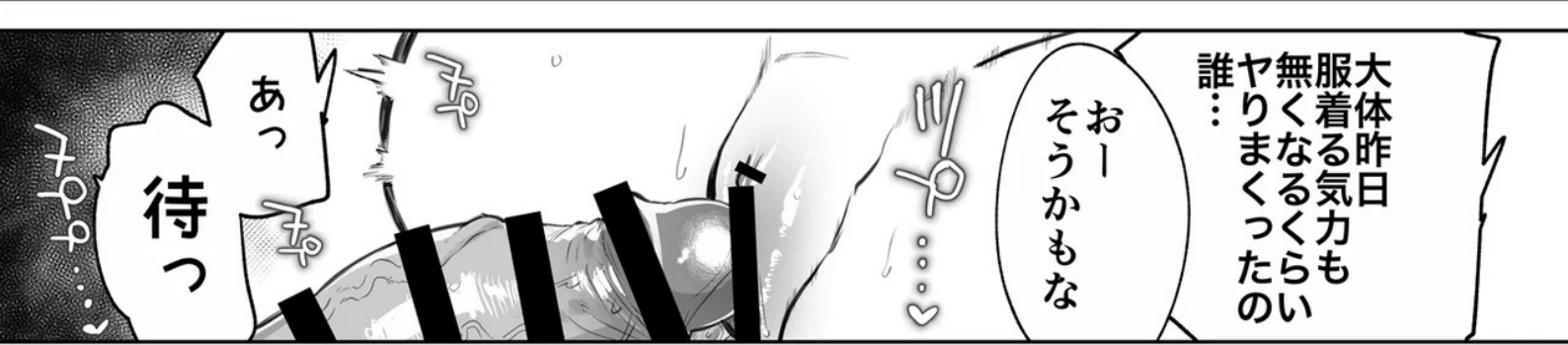


大体今朝
乳丸出して
迫ってきたのは
誰だったかな

クチュ……

なツ……

迫って
ないし！



大体昨日
服着る気力も
無くなるくらい
やりまくったの
誰……

おー
そうかもな

あっ

待つ

クチュ……



てえ♡♡

クチュ♡♡



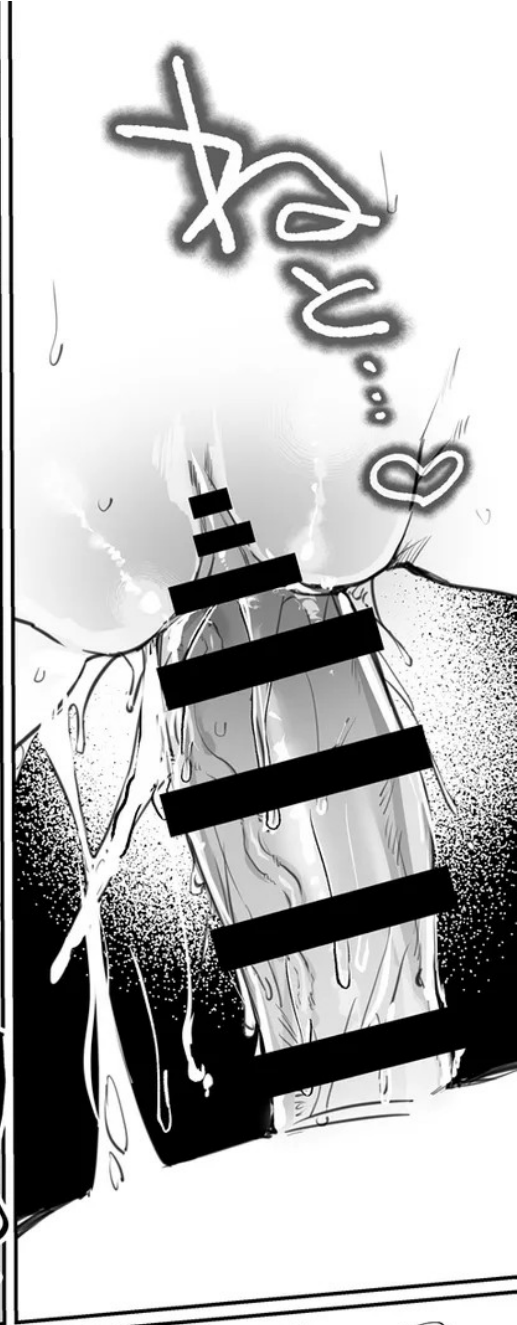
奥つ...
おもいつつ
突かれて
とるとるとはなん...
♡

♡...
♡...
♡...

♡...
♡...
♡...

♡...
♡...
♡...

♡...
♡...
♡...



式神さん...??

志乃…

志乃ッ…

この香り…

絹のような黒髪から薫る…

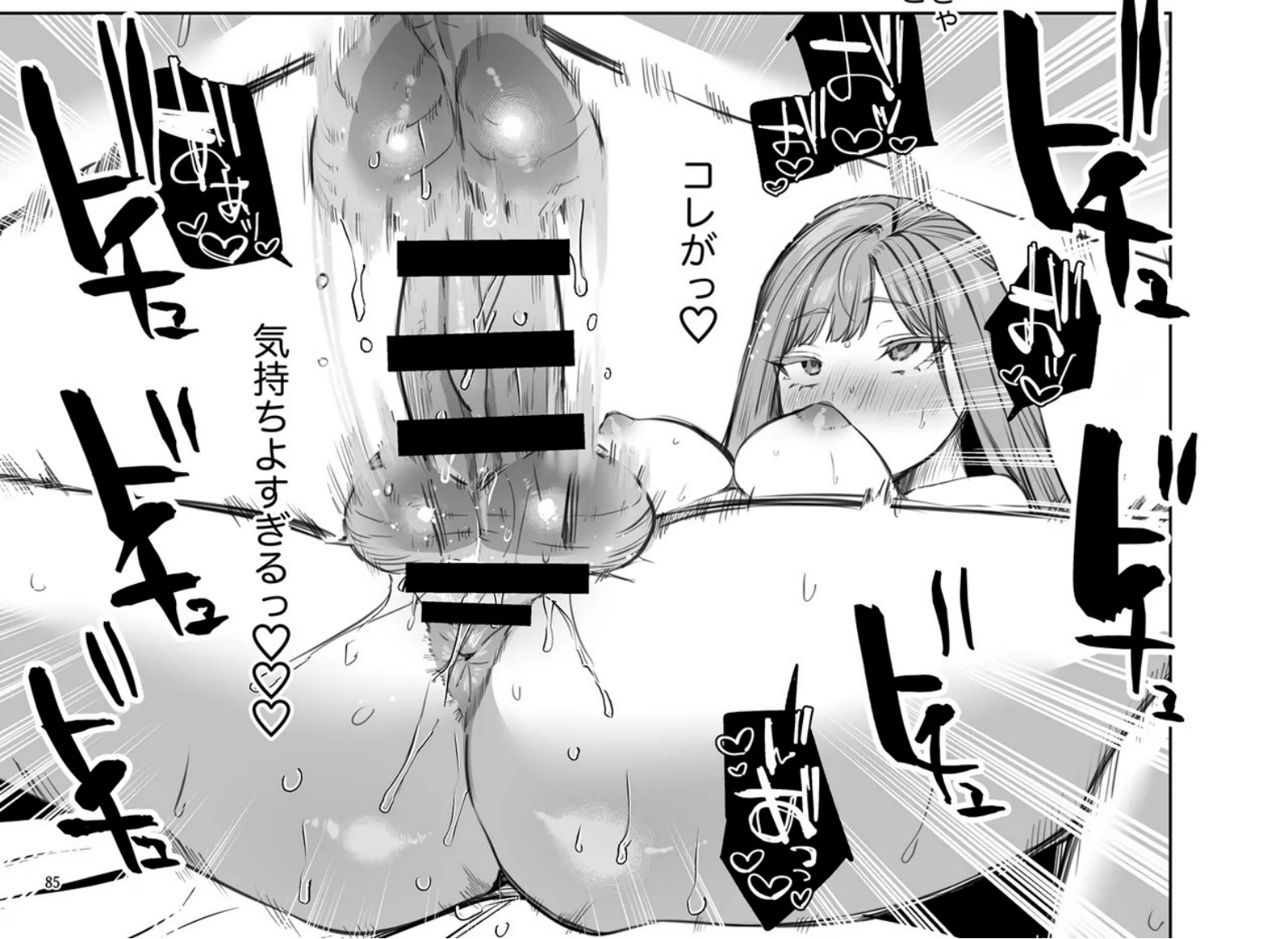
わたし

ふんがで



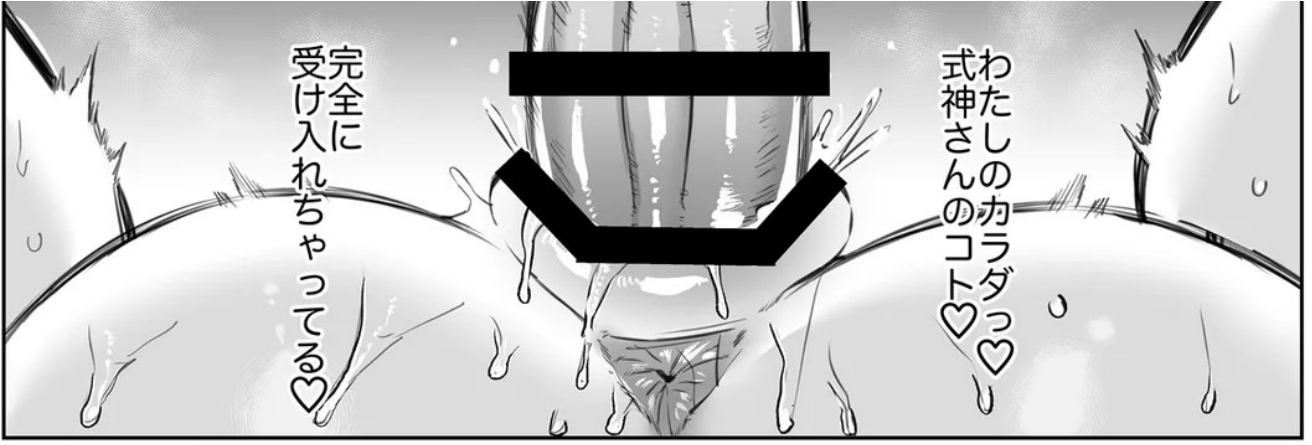
ある...
気がする
に...
あがる

大事なく...
思いつく...
いけいこと
ないとき



気持ちがよす

コしがっ♡



わたしのカラダっ♡
式神さんのコトっ♡

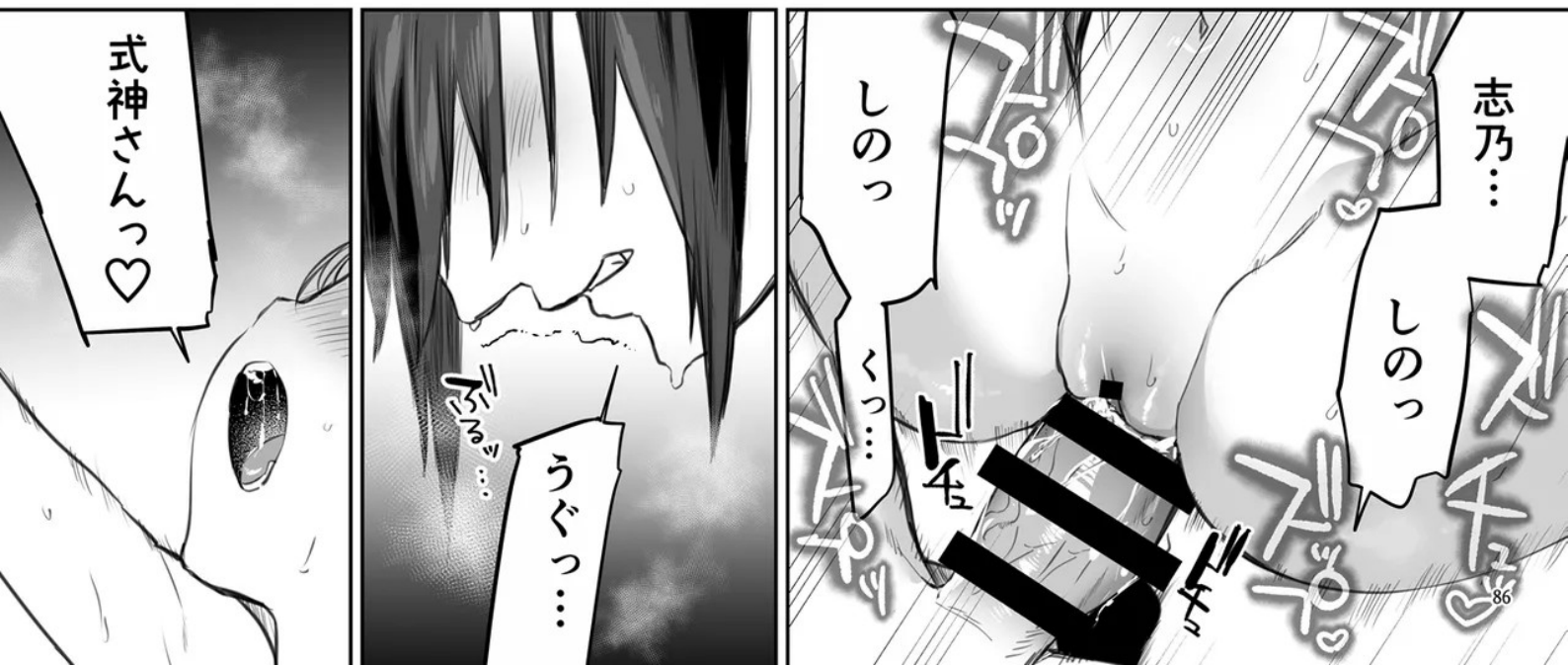
完全に
受け入れちゃってる♡



考えるチカラ奪われるっ♡

これのうしろしか考えられなくなるっ♡

志乃っ…



志乃…

っのっ

…っのっ

うぐっ…

んんん…

式神さんっ♡



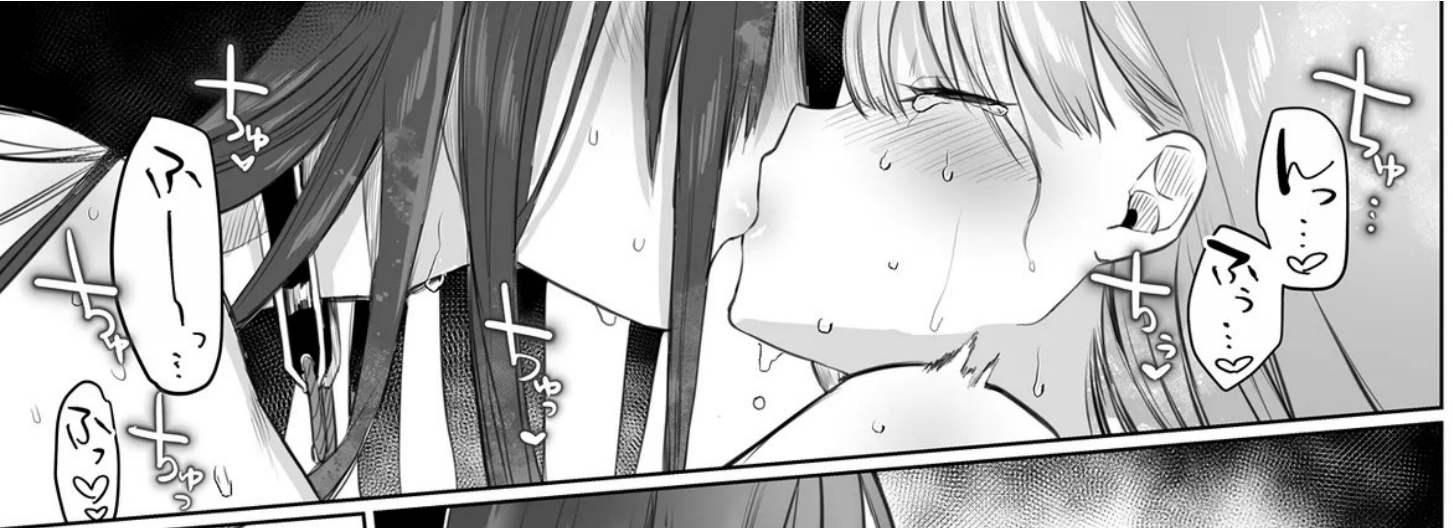
アハハ

アハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ



あ...わたしました...
意識が...

志乃...



良い香り…
懐かしい香り…

志乃

長い間一人に
させてすまなかつた

何の…
たっかおり…
たつけ…
…

これから
は側…
…

